

消 防 年 報

令和7年度版



令和8年2月竣工

多治見市消防本部

令和8年 刊行

多治見市民憲章

わたくしたちは、多治見市民としての誇りと責任を感じ憲章と共に進みましょう

- 1、めぐまれた資源を愛し、郷土の発展につとめましょう
- 2、美しい環境をつくり、健康ですみよい都市にいたしましょう
- 3、きまりを守り、明るい社会をつくりましょう
- 4、教養を高め、文化のまちをきずきましょう
- 5、お互いに助け合って、みんなの幸せを守りましょう

(昭和37年7月31日制定)

多治見市の花

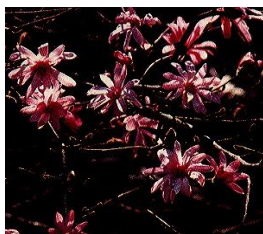


キキョウ



ツツジ

多治見市の木



シデコブシ



イチョウ

はじめに

この年報は、令和7年中及び令和8年4月1日現在における状況をまとめたものであり、多治見市の消防現況を広く一般に紹介するとともに、将来の消防行政の参考に供する目的をもって編集しました。

令和8年6月

目次

消防現勢	1
多治見市の位置	2
多治見市消防配置図	3
多治見市消防組織機構	4
消防本部事務分掌	5
消防署事務分掌	6
概要・沿革	7
多治見市一般会計予算と消防予算との比較	7
消防庁舎の現況	8
消防応援協定	9
階級別職員配置状況	10
年齢別階級	10
勤続年数別階級	10
消防職員資格取得状況	11
消防ポンプ自動車等配置状況	12
装備品	12
消防水利状況	13
消防団現勢	14
消防団員年額報酬	14
消防団員出動報酬	14
在職年数別団員数	15
年齢別階級別団員数	15
消防音楽隊	16
消防団車両配置状況	17
消防団の出動状況	18
消防団の訓練状況	18
消防団主要行事	18
火 災	19
火災概況	20
過去5年間に於ける署別火災状況	21
月別火災件数	22
曜日別火災件数	22
出火時刻別火災件数	22
地域及び校区别火災件数	23
月別火災損害額	23
原因別火災件数	23
種別損害額	23
月別非火災等出動件数	24

救急・救助	25
救急概況	26
過去5年間の救急出動件数	26
署別救急出動件数	27
地域及び校區別救急出動件数	28
月別救急出動状況	28
救急要請を受信した曜日別の救急出動件数	29
受付別救急出動件数	29
救急要請を受信した時刻別の出動件数	30
傷病程度別搬送人員	30
救急種別搬送人員	30
年齢別搬送状況	31
高速自動車国道における救急出動件数及び搬送人員の推移	31
救急救命講習会状況	32
AED設置施設状況(多治見市保有)	32
救急救命訓練用資器材の保有状況	32
救助概況	33
事故種別救助活動状況	33
救助用機械器具等の保有状況	34
緊急通報システム・救急医療情報システム	35
緊急通報システム	36
月別受信状況	36
救急医療情報システム	37
予 防	38
防火対象物数・予防査察状況・防火管理者実態一覧	39
防火管理者講習受講者数	40
用途別建築同意及び事務処理状況	40
年度別・工事別建築同意状況	41
消防用設備等検査状況	42
広報公聴活動状況	43
少年消防クラブの現況	43
幼年消防クラブの現況	44
危険物施設状況	45
各種届出状況	46
予防関係調査状況	46
高圧ガス製造施設等施設数	47
火薬類事業関係	47
中・高層建築物状況	48

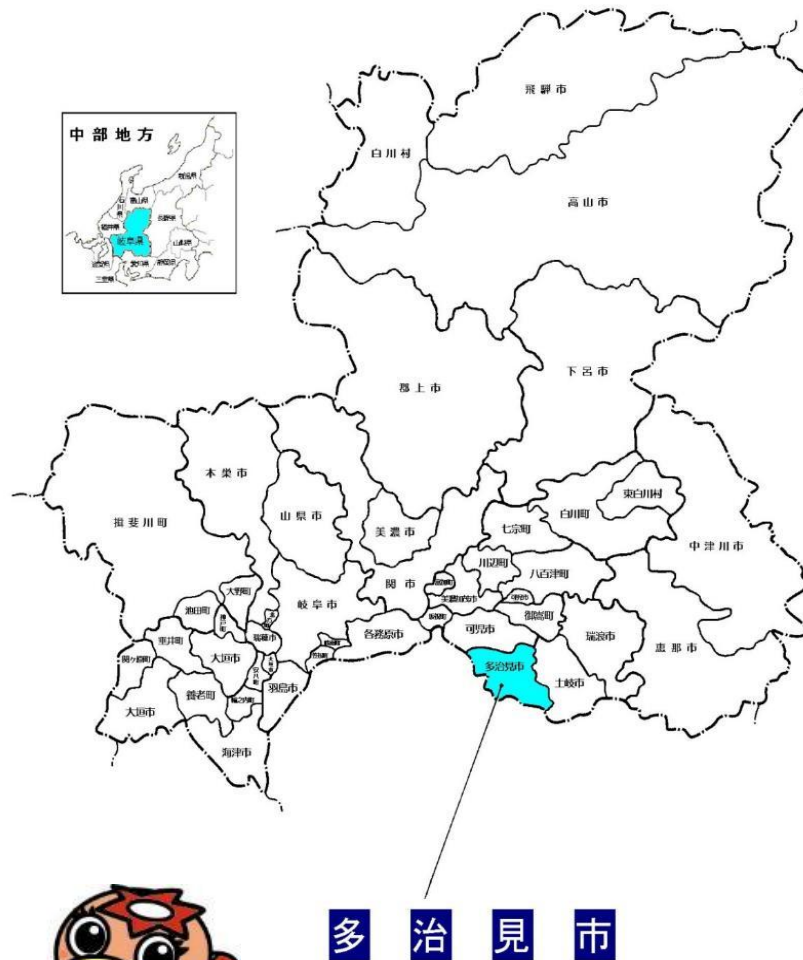
防 災	49
街頭消火器設置状況	50
初期消火用放水器具設置状況	50
通信体制	51
消防通信	52
119番の受信状況	52
無線機配置状況	53
気象統計	54
月別気温状況	55
月別湿度状況	55
月別降雨状況	56
年度別雨量状況	56
月別風速状況	57
年度別火災警報発令状況	57
季節別風向状況	58
多治見消防の歩み	59

消 防 現 勢



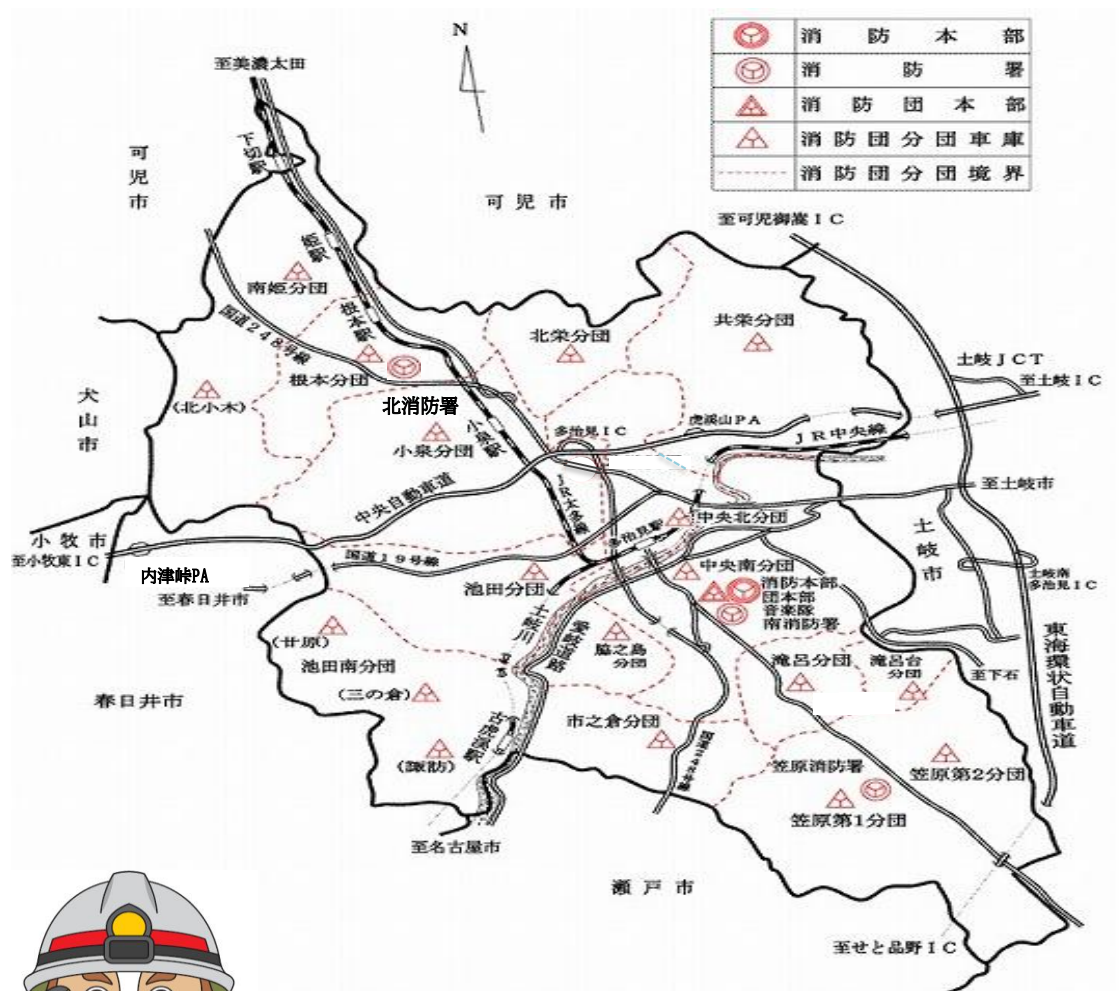
多治見市の位置

岐阜県



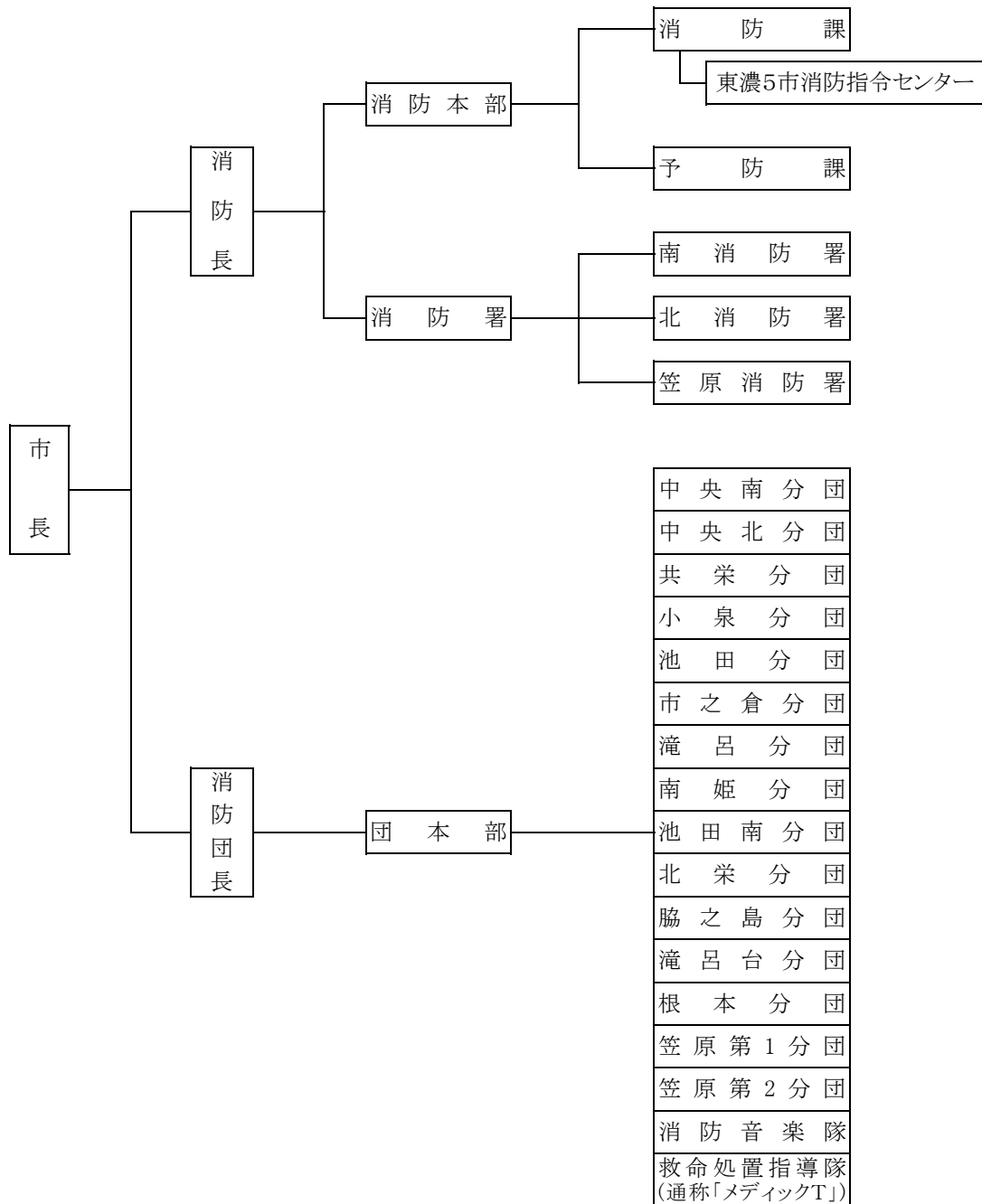
多治見市マスコットキャラクター
うながっぱ

多治見市消防配置図

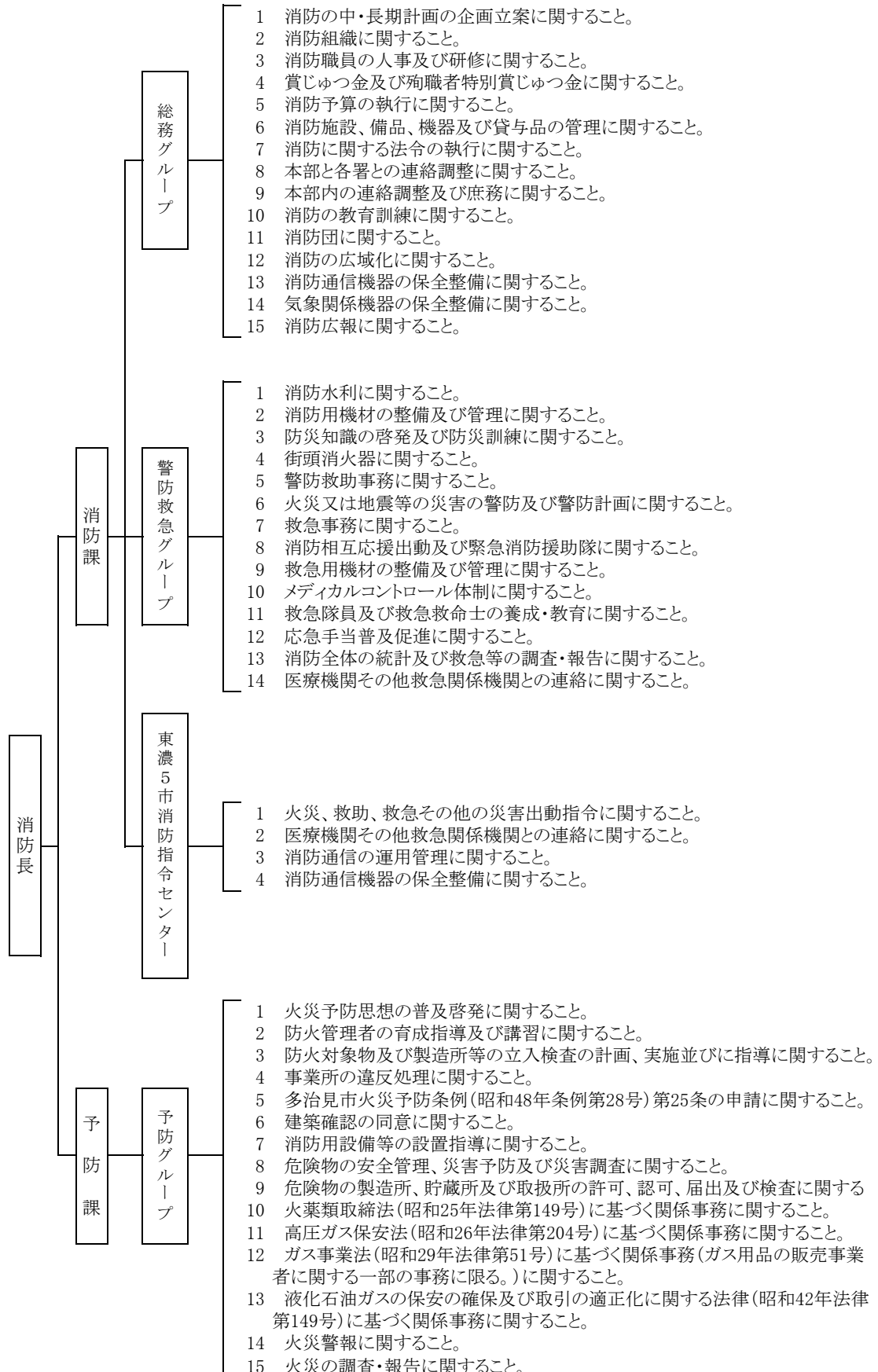


多治見市消防本部
マスコットキャラクター
たじ丸

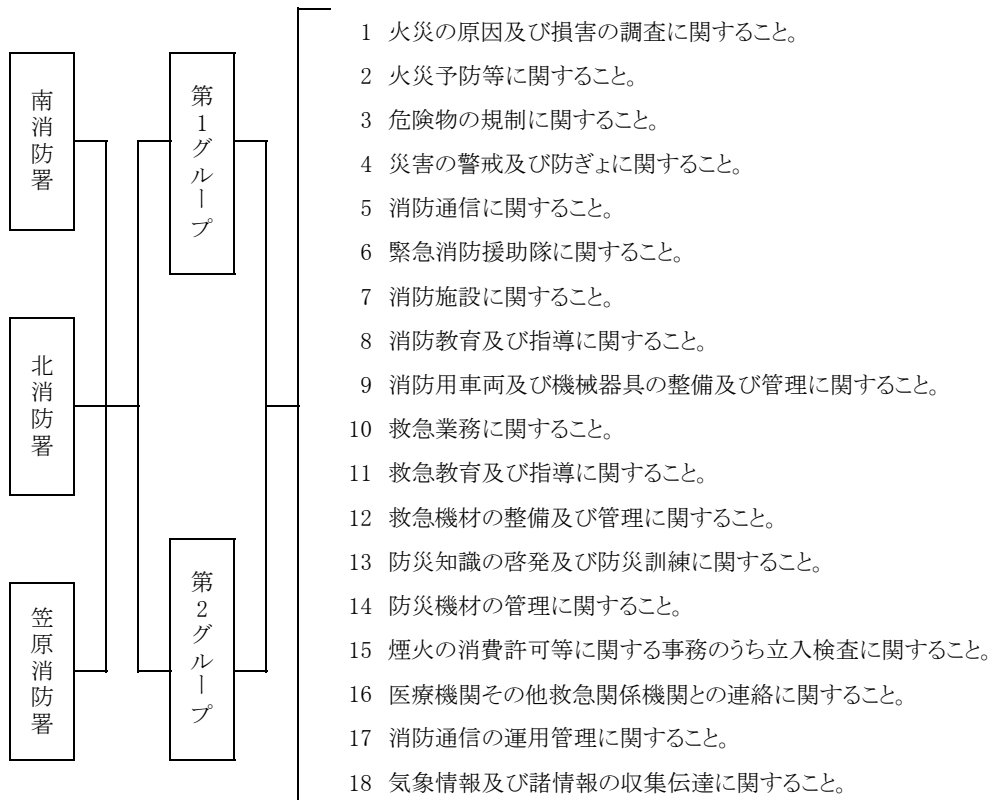
多治見市消防組織機構



消防本部事務分掌



消防署事務分掌



概要・沿革

(令和8年4月1日現在)

・位 置	東経137度8分6秒	北緯35度19分46秒
・広 域	東西14.73km	南北12.835km
・面 積	91.25 km ²	
・人 口	103,672 人	
・世 帯	48,340 世帯	

・市 制 施 行	昭和 15年 8月 1日
・常 備 消 防 設 置	昭和 20年 10月 1日
・消 防 本 部 設 置	昭和 24年 9月 18日
・消 防 署 設 置	昭和 27年 9月 8日
・南・北消防署設置	昭和 46年 10月 21日
・笠原消防署設置	昭和 49年 4月 1日 (笠原町消防事務委託)
・通信指令室設置	昭和 54年 2月 1日
・警 防 課 改 称	平成 元年 4月 1日 (消防課を警防課に改称)
・予 防 課 設 置	平成 元年 4月 1日
・予 防 警 防 課 設 置	平成 9年 4月 1日 (予防課、警防課を統合)
・消防総務課改称	平成 18年 1月 1日 (庶務課を消防総務課に改称)
・通信指令課改称	平成 23年 4月 1日 (通信指令室を通信指令課に改称)
・消 防 本 部 改 編	令和 2年 4月 1日 (消防本部各課を消防総務課、 予防課、救急指令課に改編)
・北消防署移転設置	令和 8年 2月 15日 (根本町7-77-1に移転)
・消 防 本 部 改 編	令和 8年 4月 1日 (消防本部各課を消防課、予防 課に改編)
・東濃5市消防指令センター設置	令和 8年 4月 1日 (瑞浪市に設置)

多治見市一般会計予算と消防予算との比較

令和8年度予算		割 合				
市 予 算 額	消 防 費	人 口 1,000 人 当りの消防職員数	人 口 1,000 人 当りの消防団員数	市予算額に 対する消防 費の割合	人 口 1 人 当りの消 防 費	1 世 帯 当りの消 防 費
		$\frac{\text{職員}}{\text{人口}} \times 1,000$	$\frac{\text{団員}}{\text{人口}} \times 1,000$	%	$\frac{\text{金 額}}{\text{人口}}$	$\frac{\text{金 額}}{\text{世帯数}}$
千円	千円	人	人	%	円	円
46,325,000	1,429,445	1.1	3.9	3.09	13,788	29,608

区分 年度別	市 一 般 会 計 決 算 額 千円	消 防 費 決 算 額 千円	市 決 算 額 に 対 す る 消 防 費 決 算 額 の 比 率 %
令和2年度	52,196,648	1,216,492	2.3
令和3年度	45,106,156	1,187,467	2.6
令和4年度	45,643,771	1,388,547	3.0
令和5年度	46,469,659	1,531,986	3.3
令和6年度	50,114,132	2,651,182	5.3

消防庁舎の現況

消防本部・南消防署庁舎



所在地	多治見市三笠町2丁目21番地						
構造	鉄筋コンクリート造						
	地下1階地上4階建						
敷地面積	5,421.67㎡						
延べ面積	3,043.38㎡						
	昭和	59年	10月	1日	竣工		
	平成	7年	3月	31日	増築		
	平成	23年	3月	31日	改築（耐震補強工事）		



北消防署庁舎

所在地	多治見市根本7丁目77番地の1						
構造	鉄筋コンクリート造3階建						
敷地面積	5194.74㎡						
延べ面積	1724.84㎡						
	令和	8年	2月	15日	竣工		

笠原消防署庁舎



所在地	多治見市笠原町2081番地の1						
構造	鉄筋コンクリート造						
	地下1階地上3階建						
敷地面積	2,368.80㎡						
延べ面積	2,795.00㎡						
	昭和	54年	10月	1日	竣工		
	平成	23年	12月	4日	改築		

消防応援協定

各市町村の消防力の限界を超える大規模な火災、災害及び集団的な救急救助事故等を効率的に処理するため、多治見市では次のように消防相互応援協定を締結しています。

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
昭和 44年 1月 30日	愛知県瀬戸市
昭和 48年 6月 1日	愛知県春日井市
昭和 58年 7月 18日	愛知県犬山市
平成 19年 12月 19日	(東濃地区)土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市
平成 30年 10月 1日	可茂消防事務組合
令和 元年 5月 24日	土岐市、瑞浪市

【中央自動車道における応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
昭和 50年 3月 4日	(東濃地区)土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市
昭和 63年 10月 19日	小牧市

【県内高速道路における応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
令和 2年 11月 4日	岐阜市、大垣消防組合、可茂消防事務組合、高山市中濃消防組合、各務原市、土岐市、羽島市、中津川市、恵那市、瑞浪市、羽島郡広域連合、不破消防組合、揖斐郡消防組合、養老町、飛騨市、郡上市

【岐阜県広域消防相互応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
令和 3年 12月 1日	岐阜県下全市町村、事務組合、広域連合

【岐阜県防災ヘリコプター応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
平成 31年 1月 1日	岐阜県

【はしご自動車応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
令和 元年 5月 24日	土岐市、瑞浪市

階級別職員配置状況

(令和8年4月1日現在)

階級別 所属別	合 計	消 防 監	消 防 司 司 令 長	消 防 司 司 令	消 防 司 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士 副 士 長	消 防 士
消 防 本 部	1	1						
消 防 課	18(1)		2	3	5(1)	6	1	1
予 防 課	6		1	1	2	2		
南 消 防 署	41(1)		1	4	8	14	5(1)	9
北 消 防 署	34(1)		1	4	9	12(1)	3	5
笠 原 消 防 署	13		1	2	4	4	2	
合 計	113(3)	1	6	14	28(1)	38(1)	11(1)	15

()は、うち女性

年齢別階級

(令和8年4月1日現在)

階級別 年齢別	合 計	消 防 監	消 防 司 司 令 長	消 防 司 司 令	消 防 司 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士 副 士 長	消 防 士
25 才 未 満	13							13
25才～30才未満	13					3	9	1
30才～35才未満	16(1)					14	2(1)	
35才～40才未満	19(1)				5	14(1)		
40才～45才未満	11				9	2		
45才～50才未満	12(1)			4	5(1)	3		
50才～55才未満	18		3	6	9			
55 才 以 上	11	1	3	4		2		1
合 計	113(3)	1	6	14	28(1)	38(1)	11(1)	15

()は、うち女性

勤続年数別階級

(令和8年4月1日現在)

階級別 勤続年数別	合 計	消 防 監	消 防 司 司 令 長	消 防 司 司 令	消 防 司 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士 副 士 長	消 防 士
5 年 未 満	16						2	14
5年～10年未満	16					7	8	1
10年～15年未満	19(2)					18(1)	1(1)	
15年～20年未満	21				13	8		
20年～25年未満	9(1)			2	5(1)	2		
25年～30年未満	4		1	1	1	1		
30年～35年未満	17		3	7	7			
35 年 以 上	11	1	2	4	2	2		
合 計	113(3)	1	6	14	28(1)	38(1)	11(1)	15

()は、うち女性

消防職員資格取得状況

(令和8年4月1日現在)

種別 \ 階級別		合 計	消防司令以上	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士
運 転 免 許	大 型 自 動 車	100	21	26	37	11	5
	中 型 自 動 車	3		1	2		
	普 通 自 動 車	113	21	28	38	11	15
消 防 設 備 士 (甲 種)		2	2				
消 防 設 備 士 (乙 種)		11	4	6	1		
危 険 物 取 扱 者 (乙 丙 種)		87	15	24	34	9	5
救 急 救 命 士 (総 数)		35	5	8	15	4	3
気 管 挿 管 救 急 救 命 士		18	5	8	5		
薬 剤 投 与 救 急 救 命 士		32	5	8	15	4	
JPTec		80	6	23	33	11	7
ICLS		31	7	11	9	3	1
PSLS		75	11	24	29	6	5
特 殊 無 線 (二 級 ・ 三 級)		109	21	28	38	11	11
酸 欠 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者		46	14	15	16	1	
衛 生 管 理 者		8	1	6	1		
小 型 船 舶 操 縦 士		13	1	5	7		
玉 掛 技 能 資 格 者		60	15	20	19	5	1
ガ ス 溶 接 技 能 資 格 者		7	5	1		1	
小 型 移 動 式 ク レ ーン		66	15	22	24	5	
高 圧 ガ ス 保 安 責 任 者		4	1	2	1		
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者		15	9	6			
予 防 技 術 資 格 者		41	11	13	14	2	1
防 災 士		6	2	2	2		

※他機関へ出向中の職員を除く。

消防ポンプ自動車等配置状況

種別 \ 所属別		合 計	消防本部			消防団
			本部南署	北署	笠原署	
消防 車 両	普 通 ポ ン プ 車	18	2	1		15
	タ ン ク 車	3	1	1	1	
	小型動力ポンプ付水槽車	1		1		
	は し ご 車	1	1			
	化 学 車	1		1		
	救 助 工 作 車	1	1			
	救 急 車	5	2	2	1	
	指 揮 車	2	1			1
	防 災 指 導 車	2	1			1
	小型動力ポンプ付積載車	17				17
	小 計	51	9	6	2	34
その 他 の 車 両	水 防 車	1	1			
	査 察 車	5	2	2	1	
	資 材 運 搬 車	6	2	1	1	2
	そ の 他 の 車 両	4	4			
	小 計	16	9	3	2	2
機 械	小 型 動 力 ポ ン プ	3	2			1
	小 計	3	2			1
合 計		70	20	9	4	37

装備品

品名 \ 所属	空 気 充 填 装 置	発 泡 器	背 負 式 散 水 装 置	組 立 式 水 槽	携 帯 発 電 機	合 成 界 面 活 性 剤	ク ラ ス A 消 火 薬 剤
南 署	1	2	18	2	8	100 リットル	580 リットル
北 署	1	2	18	1	4	440 リットル	460 リットル
笠 原 署		1	21	1	1	340 リットル	0 リットル
合 計	2	5	57	4	13	880 リットル	1,040 リットル

消防水利状況

		南 署	北 署	笠 原 署	合 計
公 設 消 火 栓		1,379	909	503	2,791
公設防火水槽	40 m ³ 以 上	89	123	34	246
	20 m ³ 以上40 m ³ 未 満	8	4	5	17
	小 計	97	127	39	263
そ の 他	プ ー ル	10	7	2	19
合 計		1,486	1,043	544	3,073

消防団現勢

(令和8年4月1日現在)

	方面隊	人 員		機 械				
		定員	現在員	普通ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ	資材 運搬車	計
合 計		人 493	人 407(54)	台 15	台 17	台 1	台 2	台 35
団 本 部		13	12					
中 央 南 分 団	1	28	26(3)	1	1			2
中 央 北 分 団	2	28	18(2)	1	1			2
共 栄 分 団	2	28	23(1)	1	1			2
小 泉 分 団	3	28	29(3)	1	1			2
池 田 分 団	4	28	25(1)	1	1			2
市 之 倉 分 団	4	28	24(2)	1	1			2
滝 呂 分 団	1	28	26	1	1		1	3
南 姫 分 団 (北 小 木)	3	28	22(1)	1	2			3
池 田 南 分 団	(廿 原)	4	26	1	1	1		2
	(諏 訪)							
	(三の倉)							
北 栄 分 団	2	28	16(1)	1	1			2
脇 之 島 分 団	1	28	23(2)	1	1			2
滝 呂 台 分 団	5	28	21(2)	1	1		1	3
根 本 分 団	3	28	23(2)	1	1			2
笠 原 第 1 分 団	5	28	23(1)	1	1			2
笠 原 第 2 分 団	5	28	29(1)	1	1			2
消 防 音 楽 隊		25	22(19)					
救命処置指導隊(メディックT)		37	29(13)					

()は、うち女性

消防団員年額報酬(円)

階級別 年度別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	技術員 加算	機能別 団員
6年度 支給額	90,000	73,000	55,000	45,000	38,500	37,500	36,500	4,800	日当 2,000
7年度 支給額	90,000	73,000	55,000	45,000	38,500	37,500	36,500	4,800	1回 2,000

消防団員出動報酬(円)

(令和8年4月1日現在)

区分	災害出動 報酬	災害出動報酬 2時間超え4時間まで	災害出動報酬 4時間を超える	警戒出動 報酬(1回)	訓練出動 報酬(1回)	その他の出動 報酬(1回)
支給額	2,000	4,000	8,000	2,000	2,000	2,000

在職年数別団員数

(令和8年4月1日現在)

分団別	在職年数別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団本部		12					2	2	8
中央南分団		26(3)	6(1)	4(1)	8(1)	6	2		
中央北分団		18(2)	4	5	3(2)	1	2	2	1
共栄分団		23(1)	5	4	5(1)	4	1	1	3
小泉分団		29(3)	13(1)	4	4(2)	2	2	3	1
池田分団		25(1)	5	1	6(1)	5	6	1	1
市之倉分団		24(2)	1	2	5(2)	2	6	3	5
滝呂分団		26	5	4	3	4	2	8	
南姫分団		22(1)	4	5	4(1)	6	2	1	
池田南分団		16		5	2	4	1	2	2
北栄分団		16(1)	3(1)	3	5	2	2		1
脇之島分団		23(2)	4(1)	3	4(1)	4	2	3	3
滝呂台分団		21(2)	3(1)	2(1)	5	4		7	
根本分団		23(2)	6	6(1)	4(1)	3	4		
笠原第1分団		23(1)	4(1)	2	4	8	3	1	1
笠原第2分団		29(1)	2	2	8(1)	4	7	2	4
消防音楽隊		22(19)	8(8)	6(5)	1(1)	4(4)	1(1)	1	1
救命処置指導隊(メディックT)		29(13)	3	4(1)	5(3)	17(9)			
合計		407(54)	76(14)	62(9)	76(17)	80(13)	45(1)	37	31

()は、うち女性

年齢別階級別団員数

(令和8年4月1日現在)

年齢別	階級別	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
25歳未満		28(7)							28(7)
25歳～30歳未満		24(3)						1	23(3)
30歳～35歳未満		22						4	18
35歳～40歳未満		44(3)				2	1	13(1)	28(2)
40歳～45歳未満		52(5)			1	2	10	11	28(5)
45歳～50歳未満		60(4)			5	4	8(1)	18(2)	24(1)
50歳～55歳未満		67(3)		1	5	4	11	13(1)	34(2)
55歳以上		110(29)	1	4	11	4	2	7	81(29)
合計		407(54)	1	5	22	16	32(1)	67(4)	264(49)

()は、うち女性

消防音楽隊

多治見市消防音楽隊は、昭和35年8月1日に25名の隊員で結成されました。現在は、予備隊員6名を含め28名が活動しています。市民の皆さんに親しまれ、愛される音楽隊になるため、多治見市の公的な式典・行事、消防行事、地域で行われる行事などにおいて演奏活動を行い、防火防災のPRに一役を担っています。

人員構成

消 防 団 員	22名	合計28名
予 備 隊 員	6名	

演奏実績

演 奏 回 数	10回
延 べ 人 員	167人

訓練実績

訓 練 回 数	89回
延 べ 人 員	961人

消防団車両配置状況

区分 分団名	種別	社名	年式	種別
中 央 南 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.5	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
中 央 北 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.17	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.21	B3
共 栄 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.17	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
小 泉 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.8	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.21	B3
池 田 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.6	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.25	B3
市 之 倉 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.20	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
滝 呂 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.4	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.25	B3
南 姫 分 団 (北 小 木)	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.19	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.21	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.17	B3
池 田 南 分 団 (廿 原) (諏 訪) (三 の 倉)	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.27	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.19	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.18	B3
北 栄 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.28	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
脇 之 島 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.29	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.29	B3
滝 呂 台 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.2	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	R.5	B3
根 本 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.6	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.17	B3
笠 原 第 1 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.21	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.26	B3
笠 原 第 2 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	R.2	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.28	B3

消防団の出動状況

区分 年度別	合計		火災		風水害等 災害		訓練		救命処置 指導 救急救命 講習会補助		その他	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
R3	736	7,072	9	382	4	433	317	2,980	157	286	249	2,991
R4	774	9,005	12	473	0	0	234	6,133	235	519	293	1,880
R5	743	8,871	8	323	1	11	212	5,533	277	567	245	2,437
R6	660	7,029	9	208	0	0	207	4,583	250	537	194	1,701
R7	1,093	9,409	8	111	0	0	477	6,020	290	675	318	2,603

消防団の訓練状況

種別 回数・人員	合計	操法訓練	文化財 防火デー 消防訓練	多治見市 消防協会 競練会	水防訓練	月例訓練
回数	136	44	1	1	1	89
延人員	2,216	756	46	234	76	1,104

消防団主要行事

月	行事名	月	行事名
4月	辞令交付式 分団長・新入団員研修会 指導員科(前期)	10月	辞令交付式 消防団員幹部教育初級幹部科 市制記念花火大会警備 岐阜県消防操法大会出場分団壮行会 第74回岐阜県消防操法大会
5月	団本部・分団長会議 多治見市消防協会消防競練会	11月	消防団特別点検 第29回全国女性消防団員活性化長崎大会
6月	東濃地区消防連絡協議会 多治見市水防訓練 東濃西部地区消防団・消防本部連絡協議会 岐阜県消防操法大会出場分団訓練開始式	12月	指揮幹部科現場指揮課程 指導員科(後期1回目) 年末招集・年末夜警
7月	機関員講習会 交通安全運転研修会	1月	消防出初式 岐阜県消防定例表彰式 初級幹部科
8月		2月	文化財防火デー永保寺防火訓練 指導員科(後期2回目) 団本部・分団長会議 指揮幹部科分団指揮課程
9月	多治見市総合防災訓練 団本部・分団長会議 東濃地区消防操法合同研修会	3月	分団管内火災予防広報他 (春の火災予防運動期間)

火

災



火災概況

令和7年の火災件数は33件で、前年に比べて10件の増加となりました。
 火災による損害額は8,723千円で、前年に比べて39,701千円減少し、死者は2人、負傷者は4人でした。
 火災種別では、その他火災が16件で最も多く、全体の約48%を占めました。
 主な出火原因では、たき火・火入れが9件、タバコが4件となっています。
 一方、火災件数には含まれない非火災、誤報、調査、救急支援などの出動が554件あり、火災出動と合わせると587件となり、1日に約1.6回の頻度で消防車が出動したことになります。

区 分		摘 要
出 火 件 数		33 件
火 災 種 別	建 物 火 災	12 件
	林 野 火 災	2 件
	車 両 火 災	3 件
	そ の 他 の 火 災	16 件
上 記 の う ち 爆 発		1 件
焼 損 棟 数		11 棟
り 災 世 帯		6 世帯
り 災 人 員		15 人
死 者		2 人
負 傷 者		4 人
建 物 の 焼 損 床 面 積		62 m ²
建 物 の 焼 損 表 面 積		2 m ²
林 野 の 焼 損 面 積		5 a
損 害 額		8,723 千円
出 火 件 数 の 多 い 月		2月・10月・11月 5 件
出 火 件 数 の 多 い 曜 日		金曜日 9 件
出 火 件 数 の 多 い 時 間		14時・15時台 各4 件
人口1万人当たりの出火件数		3.2 件
人口・世帯(令和8年1月1日)		104,381 人 48,140 世帯

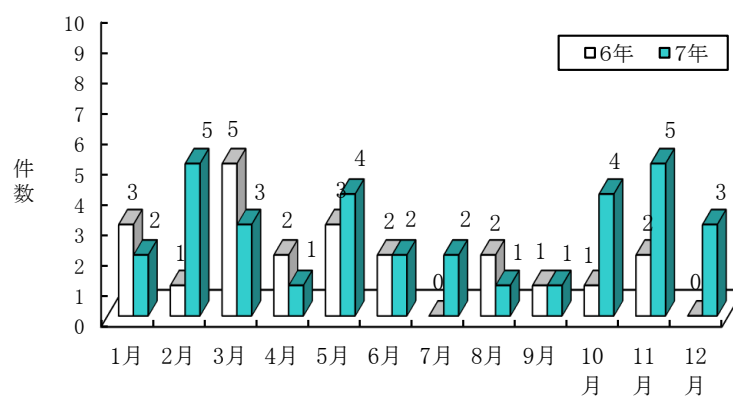
過去5年間における署別火災状況

(件)

区分 \ 年別		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
南消防署	建 物 火 災	4	2	3	3	4
	林 野 火 災	2	1	1	0	0
	車 両 火 災	0	0	0	0	1
	その他の火災	3	2	4	2	4
	計	9	5	8	5	9
北消防署	建 物 火 災	7	8	12	7	7
	林 野 火 災	0	0	0	1	1
	車 両 火 災	1	0	2	2	2
	その他の火災	3	3	7	4	8
	計	11	11	21	14	18
笠原消防署	建 物 火 災	2	0	3	3	1
	林 野 火 災	0	0	0	0	1
	車 両 火 災	0	0	0	0	0
	その他の火災	1	3	2	0	4
	計	3	3	5	3	6
合 計	建 物 火 災	13	10	18	13	12
	林 野 火 災	2	1	1	1	2
	車 両 火 災	1	0	2	2	3
	その他の火災	7	8	13	6	16
	合 計	23	19	34	22	33

月別火災件数

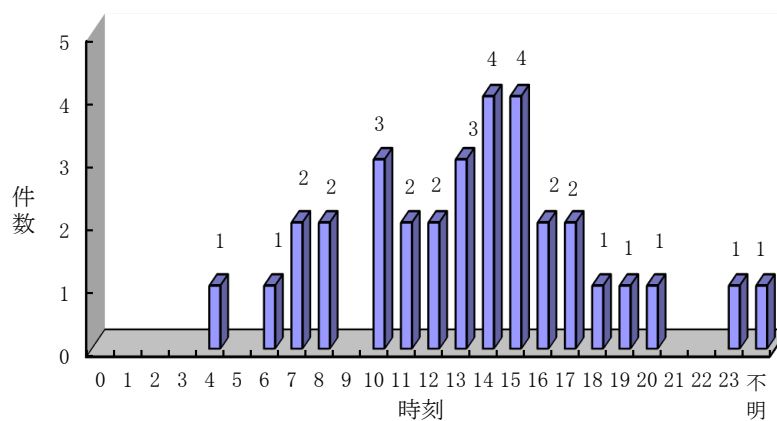
出火件数 令和6年22件
令和7年33件



曜日別火災件数(令和7年)

曜日 件数	日	月	火	水	木	金	土	不明
33件	1件	5件	1件	3件	7件	9件	6件	1件

出火時刻別火災件数(令和7年)



地域及び校區別火災件数(令和7年)

地域別 種別	計	養正	昭和	脇之島	精華	共栄	小泉	根本	北栄	池田	南姫	滝呂	市之倉	笠原	中央道
建物	12	2			2		2		1	2	1		1	1	
林野	2				1									1	
車両	3	1						1							1
その他	16	1	2		1		3	1	1	1	2			4	
計	33	4	2	0	4	0	5	2	2	3	3	0	1	6	1

月別火災損害額(令和7年)

(千円)

月別 損害額	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
8,873	0	46	198	2	1	171	2,881	150	0	371	5,053	0

原因別火災件数(令和7年)

原因	種別 件数	建物	林野	車両	その他
放火	1				1
放火疑い	1	1			
火入れ	3				3
たき火	6	1			5
たばこ	4	1	1		2
ストーブ	0				
炉・焼却炉	1	1			
こんろ	2	2			
電気装置	0				
電気機器	1			1	
マッチ・ライター	1		1		
火あそび	0				
内燃機械	0				
排気管	1	1			
配線器具	1	1			
その他	5	2		2	1
不明	6	2			4
合計	33	12	2	3	16

種別損害額(令和7年)

種別	損害額 (千円)	割合 (%)
建物	8,287	93.4
車両	541	6.1
林野		0.0
その他	45	0.5

月別非火災等出動件数

種別 月別	警 戒	非 火 災	調 査	救 急 支 援	そ の 他	合 計
1月		1	1	72		74
2月	2	1	1	56	1	61
3月	4	2			1	7
4月	1		2	38	2	43
5月	2	3	2	41		48
6月	1	4		37	4	46
7月		4	1	34	2	41
8月		5	1	43	1	50
9月	4	1	1	29	3	38
10月	2		2	29	1	34
11月	2		1	43		46
12月	1	2		63		66
合計	19	23	12	485	15	554

救 急 ・ 救 助



救急概況

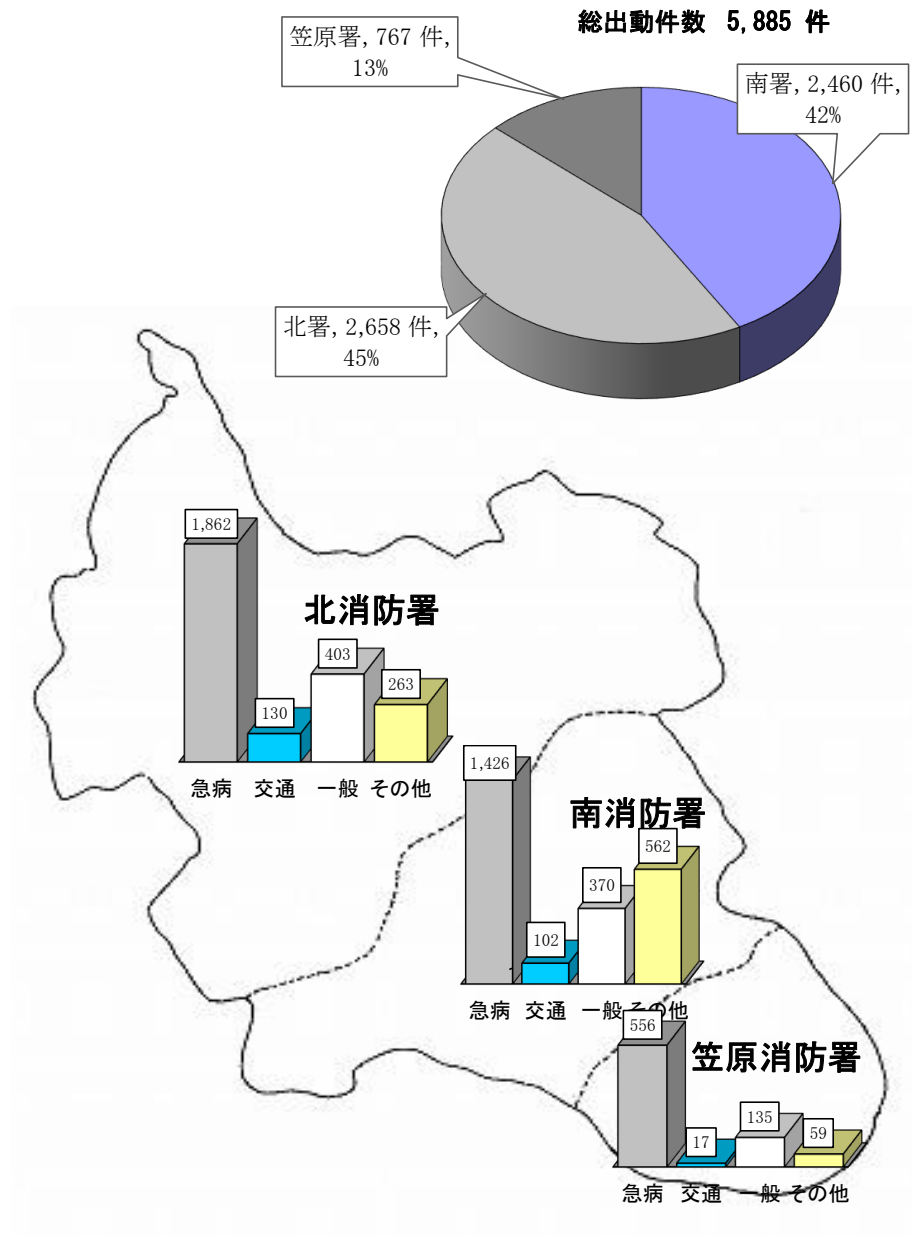
令和7年の救急出動件数は5,885件で、前年と比べ124件増加しました。搬送人員は5,612人で、前年と比べ71人増加しています。1日平均約件出動し、多治見市民の約18.5人に1人が救急車を利用したことになります。

救急種別では、急病の3,844件(43件増)が最も多く全体の約65%を占め、次に多いのが一般負傷の908件(37件増)で全体の約15%、その他のうち転院搬送678件(24件増)で全体の約12%の順となっています。

過去5年間の救急出動件数

種別 \ 年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火 災	6	4	4	14	6
自 然 災 害	1	0	0	0	0
水 難 事 故	0	1	0	0	0
交 通 事 故	249	228	254	238	249
労 働 災 害	46	62	52	63	49
運 動 競 技	17	33	34	36	30
一 般 負 傷	744	858	885	871	908
加 害	9	8	6	13	9
自 損 行 為	45	36	31	26	38
急 病	3,252	3,754	3,737	3,801	3,844
そ の 他	592	649	612	699	752
合 計	4,961	5,633	5,615	5,761	5,885
搬 送 人 員	4,751	5,418	5,349	5,541	5,612
人口1万人に対する比率(人数)	442	507	506	531	540

署別救急出動件数

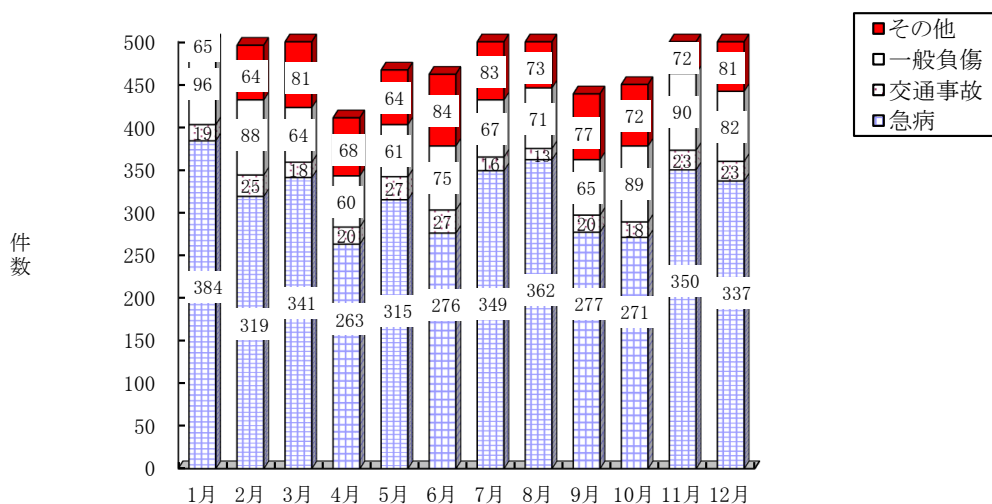


地域及び校區別救急出動件数(令和7年)

(件)

校 区 地 域 及 び 年 別	合 計	養 正	昭 和	脇 之 島	精 華	共 栄	小 泉	根 本	北 栄	池 田	市 之 倉	滝 呂	南 姫	笠 原	中 央 外 道 ・ 管
令和3年	4,961	380	661	185	850	226	301	364	530	324	161	312	188	448	31
令和4年	5,633	388	698	181	1,022	210	390	455	632	370	235	340	188	496	28
令和5年	5,615	412	782	202	941	212	423	429	559	381	183	287	243	531	30
令和6年	5,761	430	728	205	937	198	451	464	565	426	212	333	249	525	38
令和7年	5,885	411	761	226	1,005	249	429	435	558	458	250	318	190	556	39

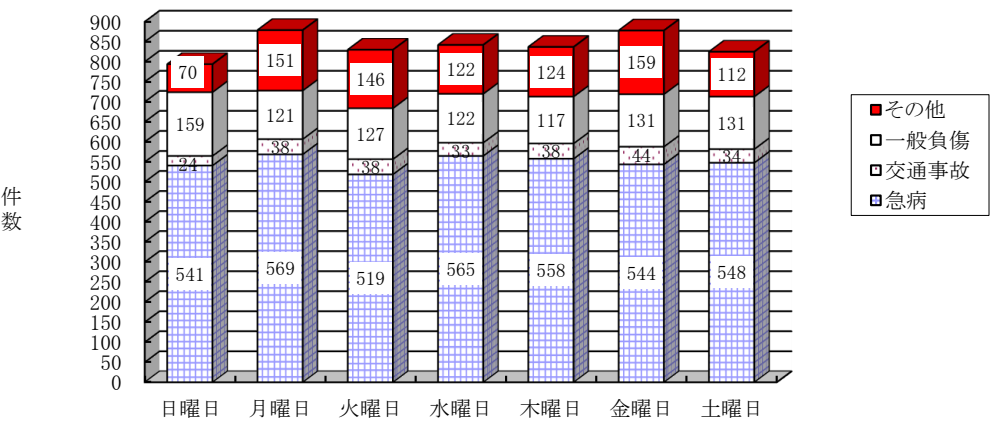
月別救急出動状況(令和7年)



(件)

種別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	384	319	341	263	315	276	349	362	277	271	350	337	3,844
交通事故	19	25	18	20	27	27	16	13	20	18	23	23	249
一般負傷	96	88	64	60	61	75	67	71	65	89	90	82	908
その他	65	64	81	68	64	84	83	73	77	72	72	81	884
合計	564	496	504	411	467	462	515	519	439	450	535	523	5,885

救急要請を受信した曜日別の救急出動件数(事故種別) (令和7年)



		(件)						
区分	曜日	日	月	火	水	木	金	土
急病		541	569	519	565	558	544	548
交通事故		24	38	38	33	38	44	34
一般負傷		159	121	127	122	117	131	131
その他(上記以外)		70	151	146	122	124	159	112
合計		794	879	830	842	837	878	825

受付別救急出動件数(令和7年)

受付別	件数	割合
119番	5,636件	95.8%
加入電話	165件	2.8%
緊急通報システム	35件	0.6%
医療情報システム	0件	0.0%
その他	49件	0.8%
合計	5,885件	

「その他」の内訳

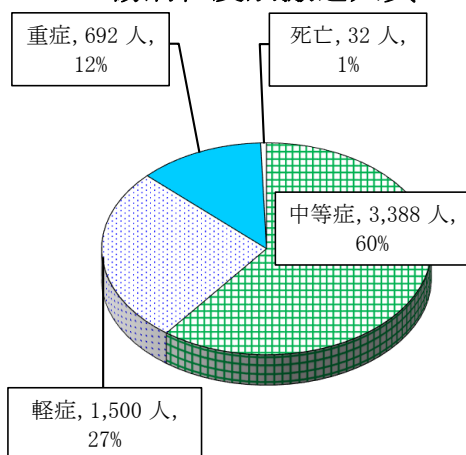
	件数
駆け込み通報	28件
中央道専用	0件
自己覚知	1件
自動火災報知設備	0件
その他	20件
合計	49件

救急要請を受信した時刻別の出動件数(令和7年)

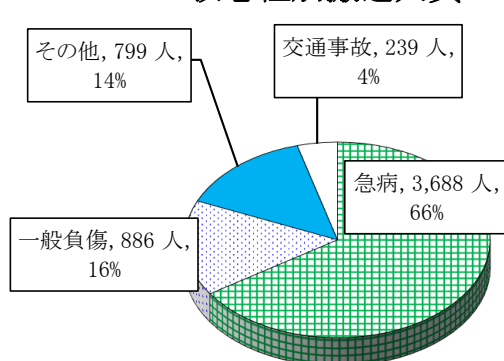
(件)

種別 時刻	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	1			7			18	3	6	187	21	243
2～4				1			19			143	5	168
4～6	1			7			28		2	153	7	198
6～8				19	1		65		6	302	6	399
8～10	1			30	13	1	111		2	508	95	761
10～12				30	8	9	143		3	473	179	845
12～14				32	7	11	104		4	397	132	687
14～16				31	10	4	88	2	5	340	84	564
16～18	2			33	4	5	116	1	1	378	96	636
18～20				31	2		89		5	373	76	576
20～22	1			11	3		80	1	3	321	36	456
22～0				17	1		47	2	1	269	15	352
合 計	6	0	0	249	49	30	908	9	38	3,844	752	5,885

傷病程度別搬送人員



救急種別搬送人員



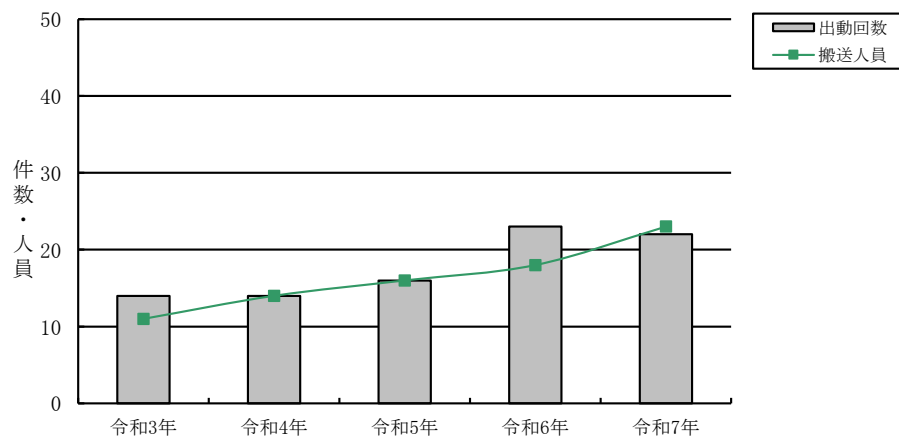
令和7年 搬送人員 5,612 人

年齢別搬送状況(令和7年)

(人)

	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
新生児 生後28日以内							1			2	26	29
乳幼児 生後29日以上 満7才未満				5			38			103	16	162
少年 満7才以上 満18才未満				24		21	34		2	85	15	181
成人 満18才以上 満65歳未満	1			123	44	7	101	5	23	855	128	1,287
老人 満65歳以上	2			87	4	3	712	3	6	2,643	493	3,953
合 計	3	0	0	239	48	31	886	8	31	3,688	678	5,612

高速自動車国道における救急出動件数及び搬送人員の推移



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数(件)	14	14	16	23	22
搬送人員(人)	11	14	16	18	23

救急救命講習会状況

多治見市消防本部では、救命率の向上を図るために、参加者を募集して各種救急救命講習を開催しています。

(令和7年度)

講習別 実施結果	普通救命 講習Ⅰ	普通救命 講習Ⅱ	普通救命 講習Ⅲ	上級救命 講習	応急手当 普及員講習	応急手当 指導員講習	救命入門 コース (90分講習)	合計
実施回数	24	1	4	2	2	1	271	305
受講者数	346	1	40	19	6	3	5,730	6,145

AED設置施設状況(多治見市保有)

救命率の向上を図るため、AED(自動体外式除細動器)の設置を推進しています。

業種別 設置別	公共施設	学校 (幼・保育園を含む)	集会場・公民館	その他	合計
施設数	49	40	35	17	141

救急救命訓練用資器材の保有状況

特定行為用 訓練人形	心肺蘇生用 訓練人形 (成人用)	心肺蘇生用 訓練人形 (小児・幼児)	気道管理 トレーナー	AED トレーナー
2	91	16	2	52

救助概況

救助件数は、47件で前年に比べ17件増加しました。救助人員は、20人で前年に比べ6人の増加となっています。

事故種別救助活動状況

区分 事故種別	令和6年			令和7年		
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
火 災	0	0	0	1	1	1
交 通 事 故	10	3	3	12	4	4
水 難 事 故	0	0	0	0	0	0
自 然 災 害 事 故	0	0	0	0	0	0
機 械 に よ る 事 故	0	0	0	1	0	0
建物等による事故	18	9	9	21	7	7
ガス及び酸欠事故	0	0	0	1	0	0
破 裂 事 故	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	2	2	11	8	8
合 計	30	14	14	47	20	20

救助用機械器具等の保有状況

種別		一般救助用器具						重量物排除用器具					切断用器具				
備品名		かぎ付はしご	三連はしご	金属製折りたたみはしご	空気式マット	救命索発射銃	救助用縛帯	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー	可搬ウインチ	マット型空気ジャッキ	大型油圧スプレッダー	油圧切断機	エンジンカッター	チェンソー	酸素切断機	マルチカッター
数量	南	4(1)	4(1)	0	1	1(1)	7(4)	5(1)	1(1)	2(1)	1(1)	1(1)	1(1)	5(1)	3(1)	1	1(1)
	北	2	3				4			1				2	3		
	笠	2	1	2			3	2		2		1		1	2		

種別		切 断 用 器 具				破壊用器具				測定用器具					呼吸保護用器具			担架			
備 品 名		鉄線カッター	空気鋸	大型油圧切断機	空気切断機	万能斧	ハンマー	削岩機	ハンマードリル	一酸化炭素測定器	可燃性ガス測定器	有毒性ガス測定器	酸素濃度測定器	放射線測定器	空気呼吸器	防塵マスク	送排風機	平担架	バスケット型担架	バーティカル担架	スケルトンストレッチャー
数 量	南	5(1)	1(1)	1(1)	1(1)	6(2)	1(1)	2(1)	2(1)	4(2)	5(1)	4(1)	3(1)	4(2)	22(5)	5(5)	1(1)	0	3(2)	1(1)	2(1)
	北	6				7	1	1		1	1	1	1		16				1		
	笠	3				3	1		1	2	1	1	1		4			1			

種別		隊員保護用器具								水難救助用器具				その他の救助用器具							
備品名		耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	防護衣（レベルA）	防護衣（レベルB）	防護衣（レベルC）	救命胴衣	救命浮環	救命ボート	船外機	車両移動器具	緩降機	応急処置用セット	携帯投光器	救助用降下機	可搬式投光器	都市型ロープ式救助資器材一式	
数量	南	5(2)	4(2)	4(2)	4(2)		5	5(5)	125(6)	106	10(1)	4	1	1(0)	1(0)	2(1)	5(1)	5(5)	1(1)	1(1)	
	北	2			1			17	33	25	11	1					3		1		
	笠	2	1	1	2	1		15		13	3						3				

()は、うち救助工作車積載数量

緊急通報システム



救急医療情報システム



緊急通報システム

このシステムは、ひとり暮らしのお年寄りや、体の不自由な方を対象として運用開始されました。緊急時等に専用機器の非常ボタンまたは緊急発信器(ペンダント型)を押すと、消防本部救急指令課に通報されるシステムです。

現在、116世帯に設置されており、24時間体制で「もしも」の時に対応しています。

月別受信状況

		(件)												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
火	災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救	急	3	4	3	6	1	2	2	3	2	2	3	1	32
相	談	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
同	報	2	2	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	9
誤	報	2	7	2	2	2	2	2	1	2	4	2	5	33
試	験	1	2	0	3	4	0	1	3	0	12	1	3	30
そ	の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合	計	8	15	6	13	7	6	6	7	4	18	6	9	105

救急医療情報システム

救急医療情報システムを利用して、傷病者の症状に対応可能な医療機関を案内する「地域救急医療情報センター」は廃止されています。

現在は、岐阜県が運営する「救急安心センターぎふ」で救急電話相談を実施しています。

救急安心センターぎふ #7119

ダイヤル回線、IP電話などつながらないときは058-216-0119

防 予



防火対象物数・予防査察状況・防火管理者実態一覧

			防火対象物数 (棟数)	査察数 (棟数)	防 火 管 理 者	
					対象物数 (件数)	届出済数
合 計			3,796	649	982	695
1項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	5		3	3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	86	27	91	84
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ンス ホール	8	1	6	6
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等				
	ニ	個 室 関 係 等 (個 室 ビデオ 等)	2	1	2	2
3項	イ	料 理 店	1	1	1	1
	ロ	飲 食 店	93	24	107	78
4項		百 貨 店 ・ 店 舗 等	146	45	122	105
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	16	9	8	8
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	598	38	62	56
6項	イ(1)	病 院	8	1	4	4
	イ(2)	4人以上の入院施設を有する診療所	5	1	4	4
	イ(3)	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	2		2	2
	イ(4)	入院施設を有しない診療所・助産所	55	10	14	11
	ロ(1)	老 人 ホ ー ム 等	56	17	54	53
	ロ(2)	救 護 施 設				
	ロ(3)	乳 児 院				
	ロ(4)	障 害 児 入 所 施 設				
	ロ(5)	障 害 者 支 援 施 設	14	2	6	6
	ハ(1)	老 人 デイサービスセンター	26	12	14	13
	ハ(2)	更 生 施 設				
	ハ(3)	助 産 施 設 ・ 保 育 所 等	23	8	20	17
	ハ(4)	児 童 発 達 支 援 センター 等	7	4	4	2
	ハ(5)	身 体 障 害 者 福 祉 センター 等	23	11	13	9
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	13	4	8	8
7項		学 校 ・ 各 種 学 校	119	11	40	29
8項		図 書 館 ・ 博 物 館	3	1	2	2
9項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場				
	ロ	公 衆 浴 場	2	1	1	1
10項		車 両 の 停 車 場				
11項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	49	17	26	24
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	949	96	37	27
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ				
13項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	22	6	1	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14項		倉 庫	599	72	8	4
15項		前各項に該当しない事業所	356	61	79	57
16項	イ	複 合 用 途 (特 定)	334	134	220	75
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物	174	32	23	3
17項		重要文化財・史跡・重要美術品	1	2		
18項		延長 50m 以上のアーケード	1			

防火管理者講習受講者数

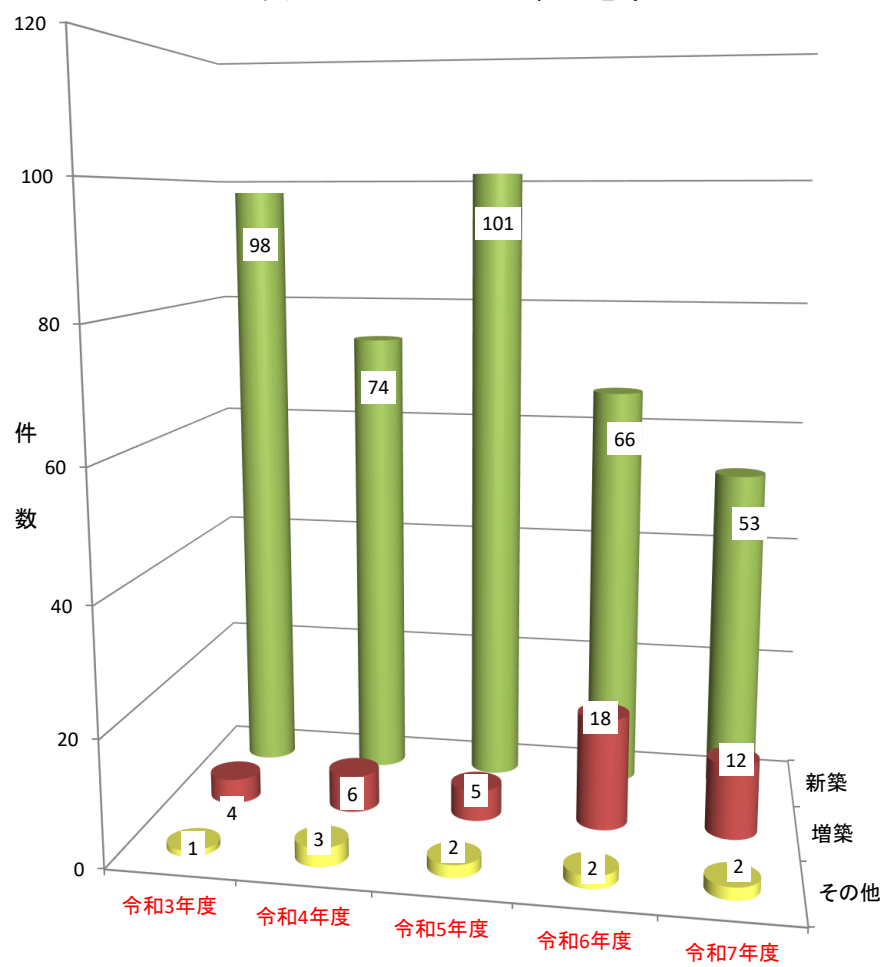
	甲種防火管理者講習	乙種防火管理者講習	甲種防火管理者再講習
昭和37年からの総数	5,942	623	167
うち令和7年度	9	0	0

用途別建築同意及び事務処理状況

(件)

			(月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			67	4	5	6	4	6	5	10	5	6	4	6	6
1項	イ	映画館・観覧場													
	ロ	公会堂・集会場													
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ													
	ロ	遊技場・ダンスホール	1							1					
	ハ	性風俗関連店舗等													
	ニ	個室関係等(個室ビデオ等)													
3項	イ	料理店													
	ロ	飲食店	3							1					2
4項		百貨店・店舗等	2							2					
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所													
	ロ	共同住宅・寄宿舎	4					1	1			1			1
	イ(1)	病院													
	イ(2)	4人以上の入院施設を有する診療所													
	イ(3)	病院・診療所・助産所													
	イ(4)	入院施設を有しない診療所・助産所													
	ロ(1)	老人ホーム等	3					1				2			
	ロ(2)	救護施設													
	ロ(3)	乳児院													
	ロ(4)	障害児入所施設													
	ロ(5)	障害者支援施設													
	ハ(1)	老人デイサービスセンター・保育所													
	ハ(2)	更生施設													
	ハ(3)	助産施設・保育所	3		1		1					1			
	ハ(4)	児童発達支援センター													
	ハ(5)	障害者支援施設													
	ニ	幼稚園・特別支援学校													
7項		学校・各種学校	1								1				
8項		図書館・博物館													
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ	公衆浴場													
10項		車両の停車場													
11項		神社・寺院・教会													
12項	イ	工場・作業場	1												1
	ロ	映画・テレビスタジオ													
13項	イ	自動車車庫・駐車場	2	1											1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													
14項		倉庫	10			4			1		1	1	2		1
15項		前各項に該当しない事業所	21	1	1		3	1	2	4	2		2	4	1
16項	イ	複合用途(特定)													
	ロ	イ以外の複合用途対象物													
17項		重要文化財・史跡・重要美術品													
18項		延長50m以上のアーケード													
		専用住宅	10	1	2	2		2		2		1			
		その他・長屋	6	1	1			1	1		1			1	

年度別・工事別建築同意状況



消防用設備等検査状況

			合計	(件)																				
				消 火 器 具	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備	消 防 機 関 へ 通 報 す る 設 備	非 常 警 報 器 又 は 備 は る	非 常 警 報 器 又 は 備 は る	避 難 器 具	誘 導 灯 標 識 及 び	消 防 用 水 備	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備
合 計			219	48	7	3	5	1	2	69				9	14	6	55							
1項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	1	1																				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場																						
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ																						
	ロ	遊技場・ダンスホール																						
	ハ	性風俗関連店舗等																						
	ニ	個室関係等(個室ビデオ等)																						
3項	イ	料 理 店																						
	ロ	飲 食 店	2	1													1							
4項		百 貨 店 ・ 店 舗 等	21	7		1				2						3		8						
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	6						7								7						
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	16	4						6							2	4						
6項	イ(1)	病 院																						
	イ(2)	4人以上の入院施設を有する診療所																						
	イ(3)	病院・診療所・助産所																						
	イ(4)	入院施設を有しない診療所・助産所	5	1						1				1		1	1							
	ロ(1)	老 人 ホ ー ム 等	3											3										
	ロ(2)	救 護 施 設																						
	ロ(3)	乳 児 院																						
	ロ(4)	障 害 児 入 所 私 設																						
	ロ(5)	障 害 者 支 援 施 設	1							1														
	ハ(1)	老人デイサービスセンター・保育所	4	1						1								2						
	ハ(2)	更 生 施 設																						
	ハ(3)	助産施設・保育所	15	3	1					3				2		2		4						
	ハ(4)	児童発達支援センター	1															1						
	ハ(5)	障 害 者 支 援 施 設	6	2						1						1		2						
	ニ	幼稚園・特別支援学校																						
7項		学 校 ・ 各 種 学 校	19	1	3			1		5				3		3	2	1						
8項		図 書 館 ・ 博 物 館																						
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場																						
	ロ	公 衆 浴 場	3	1						1								1						
10項		車 両 の 停 車 場																						
11項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会																						
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	30	5	1		1			17								6						
	ロ	映画・テレビスタジオ																						
13項	イ	自動車車庫・駐車場																						
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																						
14項		倉 庫	22	4	1		2		1	10								4						
15項		前各項に該当しない事業所	22	7	1	1	1			3						2	1	6						
16項	イ	複 合 用 途 (特 定)	23	4		1	1			8						3		6						
	ロ	イ以外の複合用途対象物	5						1	3								1						
17項		重要文化財・史跡・重要美術品																						

広報公聴活動状況

	市民		事業所関係		学校 (幼・保育園を含む)		消防団		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
防災訓練	25	1,709	1	9			1	24	27	1,742
消防訓練 (避難・消火等)	15	436	41	1,501	34	8,103			90	10,040
防火教室 (講話・映画等)							1	9	1	9
その他	47						1	136	48	136
合計	87	2,145	42	1,510	34	8,103	3	169	166	11,927

少年消防クラブの現況

昭和56年4月1日に結成された「滝呂小学校少年消防クラブ」は、令和8年3月31日に解散しました。

幼年消防クラブの現況

令和8年4月1日現在

区分 クラブ名	結成年月日	人 員	区分 クラブ名	結成年月日	人 員
精華小学校附属 愛児幼稚園	昭和56年6月9日	73	昭和小学校 附属幼稚園	昭和58年1月20日	27
養正小学校 附属幼稚園	昭和56年6月10日	21	姫こども園	昭和58年8月20日	93
前畑保育園	昭和56年6月11日	138	旭ヶ丘こども園	昭和56年7月10日	59
堇幼稚園	昭和56年7月1日	135	堇根本幼稚園	昭和58年8月21日	140
小泉保育園	昭和56年7月9日	74	笠原こども園	昭和58年8月20日	180
北野保育園	昭和56年7月9日	93	おとわものの木 保育園	平成31年4月1日	45
市之倉保育園	昭和56年7月9日	59	池田保育園	平成15年4月1日	59
双葉保育園	昭和56年7月10日	92	ジョイフル多治見 こども園	平成25年5月1日	37
認定こども園 けいなん保育園	昭和56年7月10日	65	星ヶ台保育園	平成28年4月1日	134
共栄保育園	昭和56年7月10日	70	こうよう保育園	平成31年4月1日	37

危険物施設状況

(件)

製造所等の区分 項目		危険物施設数	種別施設数		数量別施設数							査察件数	申請・承認	届出・認可
			第4類	混在	5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超えるもの			
			数	在	下									
貯蔵所	屋内	25	25		9	13	3					13		15
	屋外タンク	54	54		2	9	32	10			1	29		18
	屋内タンク	18	18		4	8	6					4		3
	地下タンク	45	45		20	11	12	2				13	3	20
	簡易タンク	6	6		6							6		4
	移動タンク	57	57		35			16	6			23	8	10
	屋外	4	4		3	1						4		5
	小 計	209	209		79	42	53	28	6		1	92	11	75
取扱所	給油	営業用	19	19					3	1	15	19	8	27
		自家用	40	40		8	8	22	2			23	1	11
	販売		1	1		1								
	一般		37	35	2	17	13	5	1		1	12	4	10
	小 計		97	95	2	26	21	27	3	3	1	16	13	48
仮貯蔵・仮取扱													1	
合 計		306	304	2	105	63	80	31	9	1	17	146	25	123

各種届出状況

区 分		届出数
防 火 管 理 者 選 解 任 届		236
消 防 計 画 届		263
防火対象物定期点検報告書		52
消防用設備等点検結果報告書		1,280
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届		32
防火対象物使用開始届		183
炉設置届	液 体 燃 料	1
	電 気	8
	気 体 燃 料 (ガ ス)	7
	固 体 燃 料	
ボ イ ラ ー 設 置 届		
乾 燥 設 備 設 置 届		12
電気設備設置届	変 電	12
	発 電	5
	蓄 電	
	ネ オ ン 管 灯	
水素ガス充てん気球設置届		
火災とまぎらわしい行為		128
煙 火 消 費 届		2
催 物 開 催 届		2
少量危険物等貯蔵取扱届		15
喫 煙 等 許 可 申 請		
道 路 工 事 届		244
水 張 検 査 申 請		
証 明 書 交 付		
水 道 断 水 届		
訓 練 実 施 届		956
遠 隔 移 報 シ ス テ ム 届		
露 店		89
そ の 他		141
合 計		3,668

予防関係調査状況

区 分		調査数
火 災 原 因		30
火 災 事 故		
危 険 物		
液 化 石 油 ガ ス		
消 防 用 設 備 等		
防 火 対 象 物 使 用 開 始		45
炉	液 体 燃 料	
	電 気	
	気 体 燃 料 (ガ ス)	
	固 体 燃 料	
ボ イ ラ ー		
乾 燥 設 備		
電気設備	変 電	
	発 電	1
	蓄 電	
	ネ オ ン 管 灯	
水 素 ガ ス 充 て ん 気 球		
煙 火		1
催 物		2
た き 火		10
枯 草		2
文 化 財		
少 量 危 険 物		
毒 物 ・ 劇 物		
指 定 可 燃 物		
火 災 予 防		34
そ の 他		21
合 計		146

高圧ガス製造施設等施設数

根 拠 法 令 (高 圧 ガ ス 保 安 法)	区 分	施 設 数
一般高圧ガス保安規則	第 1 種 製 造 所	5
	第 2 種 製 造 所	17
	第 1 種 貯 蔵 所	0
	第 2 種 貯 蔵 所	9
	販 売 事 業 所	34
	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	4
	容 器 検 査 所	2
	合 計	71
液化石油ガス保安規則	第 1 種 製 造 所	6
	第 2 種 製 造 所	0
	第 1 種 貯 蔵 所	4
	第 2 種 貯 蔵 所	2
	販 売 事 業 所	19
	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	5
	合 計	36
冷 凍 保 安 規 則	第 1 種 製 造 所	1
	第 2 種 製 造 所	12
	販 売 事 業 所	0
	合 計	13
工業用液化石油ガス 消費者指導要綱	工 業 用 液 化 石 油 ガ ス 消 費 設 備	116

火薬類事業関係

対 象	区 分	件 数
火 薬 庫	1 級	2
	2 級	0
	3 級	0
	合 計	2
庫 外 貯 蔵 所	販 売 業 者	1
	土 木 業 者	0
	玩 具 煙 火	0
	そ の 他	1
	合 計	2
消 費 場 所	採 石	5
	土 木	0
	電 源 開 発	0
	そ の 他	1
	合 計	6
販 売 業 者	火 薬 ・ 爆 発	1
	火 工 品	1
	紙 雷 管	0
	合 計	2

中・高層建築物状況

(棟)

区分	業態(主なもの)	合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	20階以上
1項	イ 劇場・観覧場														
	ロ 公会堂・集会場														
2項	イ キャバレー・ナイトクラブ														
	ロ 遊技場・ダンスホール														
	ハ 性風俗関連店舗等														
	ニ 個室関係(個室ビデオ等)														
3項	イ 料理店														
	ロ 飲食店	2	1	1											
4項	百貨店・店舗等	3	3												
5項	イ 旅館・ホテル・宿泊所	1											1		
	ロ 共同住宅・寄宿舎	105	69	9	7	1		3	4	6	1	1	1	2	1
6項	イ 病院・診療所	4	1	2		1									
	ロ 老人ホーム等	7	6	1											
	ハ 老人デイサービスセンター・保育所														
	ニ 幼稚園・特別支援学校														
7項	学校・各種学校	13	13												
8項	図書館・博物館														
9項	イ 蒸気浴場・熱気浴場														
	ロ 公衆浴場														
10項	車両の停車場														
11項	神社・寺院・教会														
12項	イ 工場・作業場	8	7		1										
	ロ 映画・テレビ・スタジオ														
13項	イ 自動車車庫・駐車場	2	1	1											
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14項	倉庫	5	3	2											
15項	前各項に該当しない事業所	26	14	1	5	3	1	2							
16項	イ 複合用途(特定)	32	20	5	4	1	1					1			
	ロ イ以外の複合用途対象物	21	14	2	3		1		1						
17項	重要文化財・史跡														
18項	延長50m以上のアーケード														
合計		229	152	24	20	6	3	5	5	6	1	2	2	2	1
南署		153	88	16	18	5	3	5	5	6		2	2	2	1
北署		68	58	6	2	1					1				
笠原署		8	6	2											

防

災



街頭消火器設置状況

大地震による火災対策の一環として、昭和54年度から市内全域に街頭消火器(粉末消火器10型)を3,177基設置し、地域住民による初期消火の強化促進を図っています。
設置してある消火器は、年に1回地域の協力により点検を行っています。

初期消火用放水器具設置状況

初期消火器具として、消防署から遠い地域の消火栓に住民用の放水器具を設置し、自主防災組織の強化促進を図っています。
現在は多治見市内に206基設置されています。

通 信 体 制



東濃5市消防指令センター（令和8年4月運用開始）

消防通信

消防通信は、119番専用電話等により火災・救急・その他の災害を速やかに受信し、消防署に緊急一斉指令を出すとともに、情報の収集、出場車両の統制、現場の状況などを把握し、各関係機関に災害連絡を行っています。

119番の受信状況

119番通報は、従来の固定電話（NTT）に加え、携帯電話（NTTドコモ、au、ソフトバンクモバイル、楽天モバイル）及びIP電話（ソフトバンクテレコム、KDDI、NTT光、中部テレコミュニケーション）等から受信しています。

令和7年の119番受信件数は8,490件で、1日平均約23.2件となります。その内訳は、火災・救急・救助等の緊急通報が6,131件で全体の約72.2%、残りの2,359件は119番回線試験、通報訓練、病院案内、いたずら等でした。

（件）

	火災	救急	警戒	救助	同報	いたずら 間違い	病院案内 問合せ	試験	訓練	その他	合計
固定	19	921	20	7	27	114	20	779	216	5	2,128
IP	6	1,932	1	5	48	31	53	28	368	4	2,476
携帯	27	2,874	26	24	155	307	148	22	125	139	3,847
その他	3	35	1	0	0	0	0	0	0	0	39
合計	55	5,762	48	36	230	452	221	829	709	148	8,490

無線機配置状況

種 別 配 置	基地局	無線機				
		車 載 型	可 搬 型	携 帯 型	署 活 系	合 計
消 防 本 部	1	7	0	3	0	10
南 消 防 署	0	9(3)	2	11(1)	18	40(4)
北 消 防 署	0	9(2)	1	10	11	31(2)
笠 原 消 防 署	0	4	1	5	5	15
県 立 多 治 見 病 院	1	1	0	1	0	2
合 計	2	30(5)	4	30(1)	34	98(6)

※ 平成27年4月1日からデジタル無線の運用を開始しました。

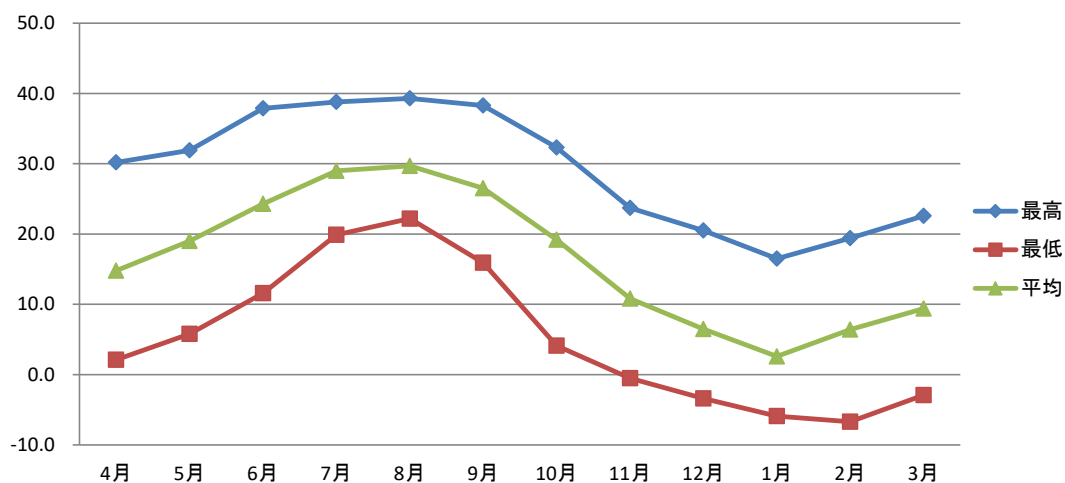
※ 南消防署、北消防署、笠原消防署の()書きは、緊急援助隊用の防災相互波です。
実数には反映していません。

※上記の他に消防団34、南消防署8、合計42台デジタル簡易無線を所有

気 象 統 計



月別気温状況

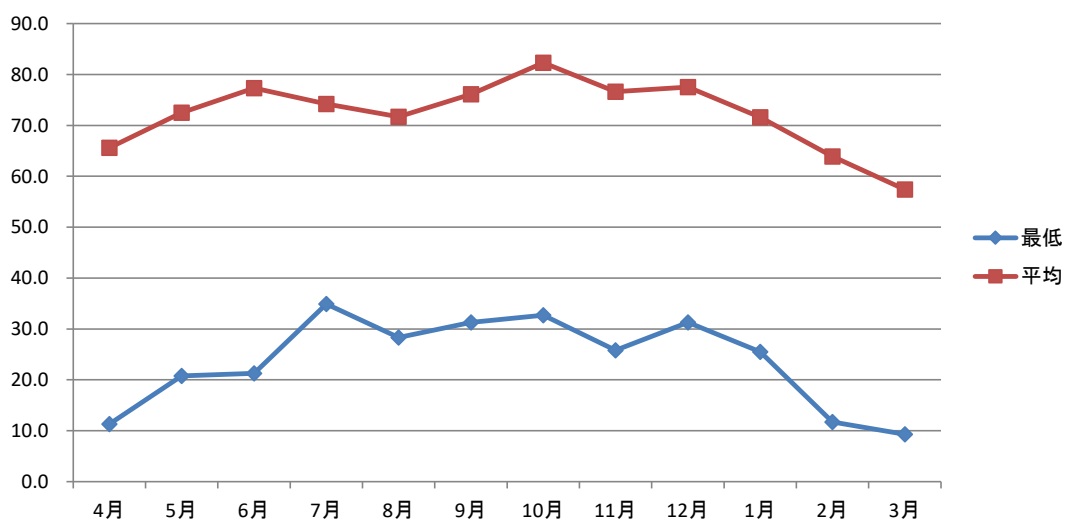


		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
気温 (°C)	最高	30.2	31.9	37.9	38.8	39.3	38.3	32.3	23.7	20.5	16.5	19.4	22.6	
	最低	2.1	5.8	11.6	19.9	22.2	15.9	4.1	-0.5	-3.4	-5.9	-6.7	-2.9	
	平均	14.8	19.0	24.3	29.0	29.7	26.5	19.2	10.8	6.5	2.6	6.4	9.4	16.5

令和7年度最高気温 39.3℃ (8月2日 14時29分)

令和7年度最低気温 -6.7℃ (2月9日 6時32分)

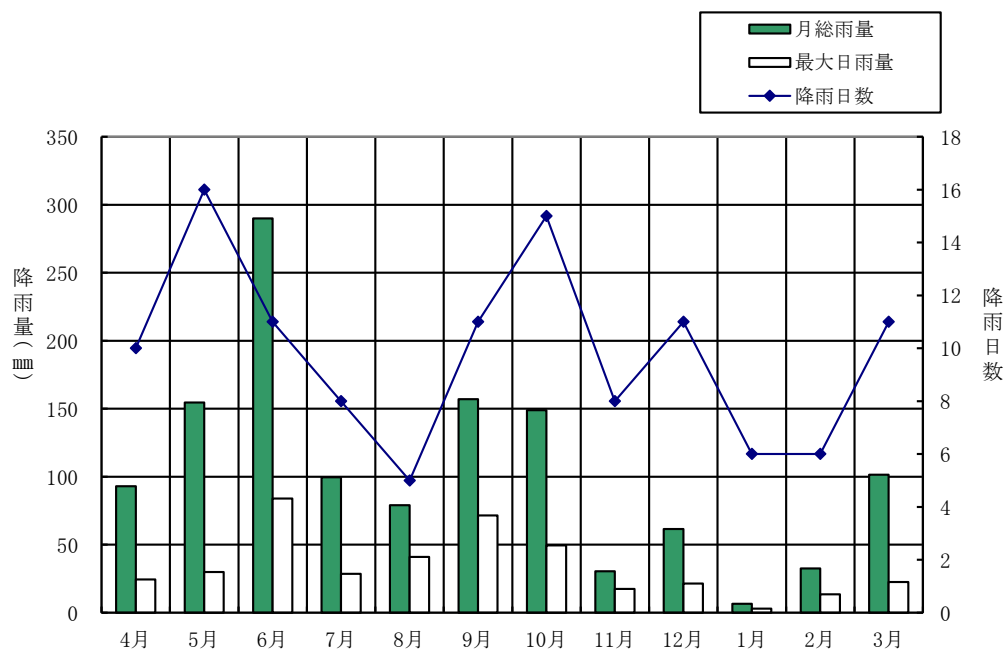
月別湿度状況



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
湿度 %	最低	11.3	20.8	21.3	34.9	28.3	31.3	32.7	25.8	31.3	25.5	11.7	9.3
	平均	65.6	72.5	77.3	74.2	71.7	76.1	82.3	76.6	77.5	71.6	63.9	57.4

令和7年度最低湿度 11.3 % (4月26日 13時46分)

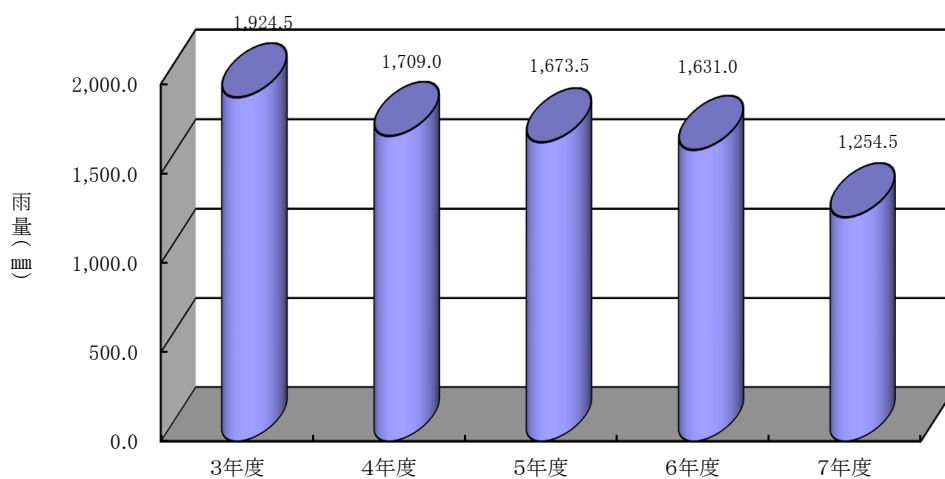
月別降雨状況



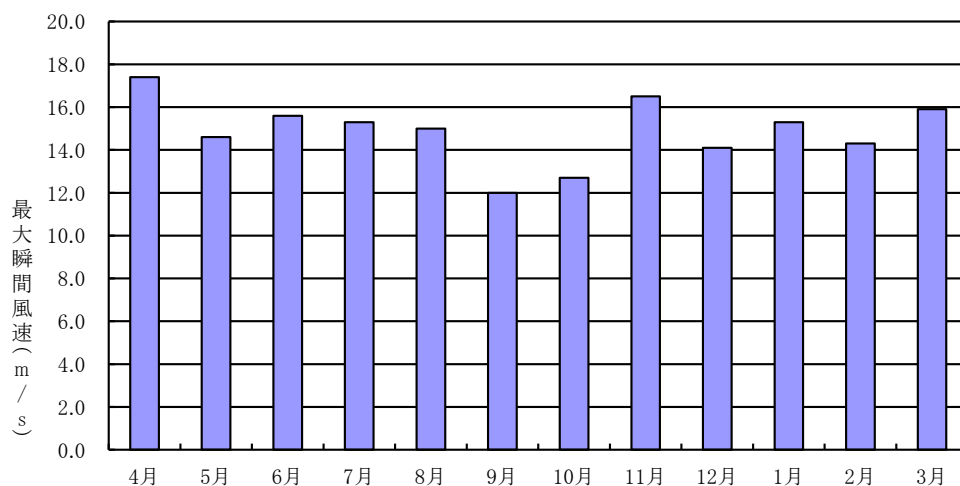
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
降雨量 mm	降雨日数	10	16	11	8	5	11	15	8	11	6	6	11	118
	月総雨量	93.0	154.5	290.0	99.5	79.0	157.0	149.0	30.5	61.5	6.5	32.5	101.5	1,254.5
	最大日雨量	24.5	30.0	84.0	28.5	41.0	71.5	49.5	17.5	21.5	3.0	13.5	22.5	

最大日降雨量84.0mm(6月11日) 最大時間雨量37.5mm(10月15日01時00分)

年度別雨量状況



月別風速状況



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
風速 m/s	最大瞬間	17.4	14.6	15.6	15.3	15.0	12.0	12.7	16.5	14.1	15.3	14.3	15.9	
	平均	1.9	1.6	1.4	1.6	1.5	1.4	1.2	1.4	1.5	1.8	1.8	2.1	1.6

令和7年度最大瞬間風速17.4m/s(4月15日 14時39分)

年度別火災警報等発令状況

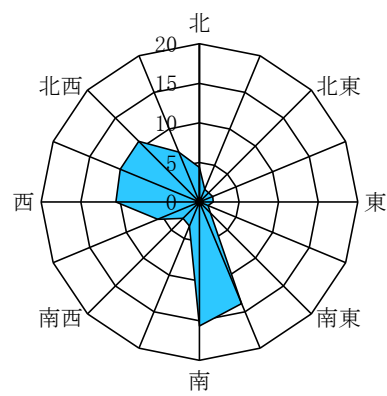
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
火災警報発令日数	1	0	1	0	8
林野火災警報発令日数					0
林野火災注意報発令日数					26

※令和8年1月1日から林野火災警報・林野火災注意報の運用を開始

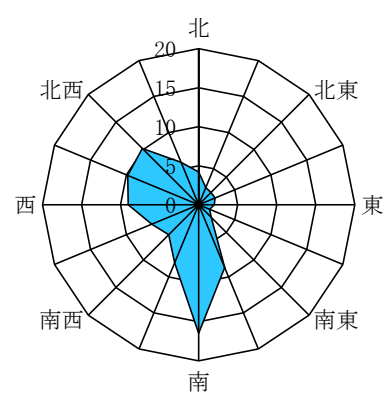
季節別風向状況

単位(%)

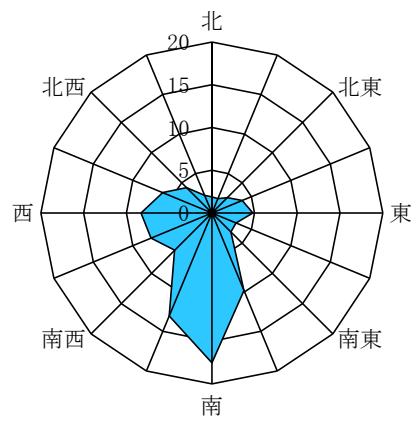
冬(12~2月) 無風=6.0



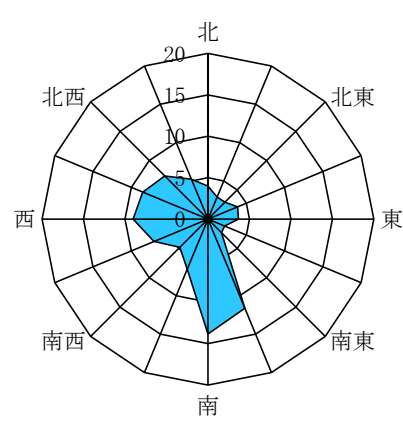
春(3~5月) 無風=3.2



夏(6~8月) 無風=4.4



秋(9~11月) 無風=4.8



多治見消防の歩み

明治 17 年	私設、多治見消防組設置
明治 28 年 10 月	多治見村本郷の私設消防組を「公設多治見本郷区消防組」と改称
明治 31 年	脇之島私設消防組設置
明治 36 年 3 月	各地の私設消防組を合併し「公設多治見消防組」と改称

大正 3 年	ドイツ式腕用ポンプ6台を配備
大正 9 年	手挽ガソリンポンプ1台を配備

昭和 2 年 9 月 12 日	消防ポンプ自動車を配備
昭和 9 年 8 月 1 日	多治見町、豊岡町の合併に伴い豊岡消防組を「多治見豊岡消防組」と改称
昭和 14 年 4 月 1 日	警防団令の施行に伴い多治見消防組を「多治見町警防団」と改称
昭和 15 年 8 月 1 日	多治見市制施行により多治見町警防団を「多治見市警防団」と改称
昭和 20 年 1 月 9 日 6 月 27 日 10 月 1 日 11 月 14 日	応召等により団員の欠員が増加したので多治見市警防補助隊を設置 空襲に対する救護防毒のため分団新設、婦人団員69人が入団し多治見消防史上婦人団員が初めて誕生 多治見市常備消防部を創設 部長以下12人(消防本部・署の基となる) 常備消防制度の発足に伴って警防補助隊及び救護防毒のための分団を廃止
昭和 22 年 10 月 1 日	多治見市警防団を解団し多治見市消防団を結成 [常備部22人、消防団員278人]
昭和 24 年 3 月 1 日 9 月 18 日	多治見市消防会館竣工 多治見市消防本部設置 [消防吏員33人] 多治見市消防本部設置及び常備消防強化に伴い、多治見市消防団機構改革 [団員147人]
昭和 25 年 4 月 23 日	消防林を市有林と設定し、松苗55,000本を日向(現旭ヶ丘)に植林
昭和 27 年 9 月 8 日	機構改革により多治見市消防署を設置 [消防吏員34人]
昭和 29 年 4 月 19 日	消防本部に多治見市整備場(認証工場)を設置、本部及び消防団車両並びに市役所関係車両の修繕・整備を実施
昭和 30 年 5 月 8 日	第4回岐阜県消防操法大会を市営球場で開催
昭和 32 年 1 月	廿原町、諏訪町に各団員10人、特別消防隊を結成
昭和 33 年 8 月 28 日 10 月 16 日 12 月 24 日	水防倉庫及び消防車庫竣工(耐火ブロック造 195.1㎡) 三の倉町に特別消防隊を結成 [団員7人] 消防団機構改革により中央分団を中央南・中央北の両分団に編成
昭和 34 年 11 月 25 日	1959年式プリンス型救急車を購入し救急業務を本格的に開始
昭和 35 年 4 月 1 日 8 月 1 日 12 月 1 日	可児郡姫治村の一部が多治見市へ合併、消防団機構改革により姫治村消防団を多治見市消防団南姫分団と改称 消防団機構改革により多治見市消防音楽隊を結成 [隊長以下25人] 北小木町に特別消防隊を結成 [団員8人]
昭和 38 年 7 月 31 日	多治見市消防本部第2庁舎を改築竣工
昭和 41 年 12 月 2 日	屈折梯子付消防ポンプ自動車(15m級)を消防署に配備
昭和 44 年 12 月 11 日 12 月 19 日	第1種高圧ガス製造所設備を消防署に設置 住吉町4丁目に消防署臨時川北出張所を設置
昭和 46 年 10 月 21 日 11 月 30 日 12 月 24 日	消防本部機構改革により消防署を南消防署・北消防署に分割設置し、消防吏員60人に増員 梯子付消防ポンプ自動車(32m級)及び化学消防自動車各1台を北消防署に配備 北消防署庁舎竣工

昭和 47 年	9 月 2 日	小型動力ポンプ付積載車を甘原・諏訪特別消防隊に配備
	10 月 8 日	中央自動車道小牧多治見間が開通し、高速自動車道路における消防、救急業務を開始
昭和 48 年	4 月 30 日	滝呂分団車庫竣工(滝呂町10丁目)
	9 月 26 日	小型動力ポンプ付積載車を三の倉・北小木特別消防隊に配備
昭和 49 年	4 月 1 日	土岐郡笠原町の消防業務受託により機構改革し笠原消防署を設置、消防吏員80人、事務職員1人に増員
	8 月 27 日	救急車を南消防署に配備
	12 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を北消防署に配備
昭和 50 年	3 月 25 日	救助工作車を南消防署に配備
	11 月 28 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を南消防署に配備
昭和 51 年	2 月 6 日	水槽付消防ポンプ自動車(6,000ℓ)を南消防署に配備
昭和 52 年	5 月 30 日	救急車を北消防署に配備
	10 月 27 日	消防ポンプ自動車(BD-Ⅰ型)を北消防署に配備
昭和 53 年	3 月 15 日	火災・救急等の出動増加により救急指令装置(C型)及びクロスバー式自動交換装置を設置
	3 月 20 日	消防テレホンサービス業務を南消防署で開始
	6 月 29 日	防災指導車を消防本部に配備
	9 月 17 日	岐阜県総合防災訓練実施
昭和 54 年	2 月 1 日	機構改革により消防本部内に通信指令室を設置
	4 月 1 日	消防職員を89人に増員
	10 月 1 日	笠原消防署庁舎(消防会館)竣工
昭和 55 年	1 月 26 日	北消防署車庫増築及び消防訓練塔改築
	3 月 29 日	市之倉分団車庫竣工(市之倉町8丁目)
昭和 56 年	2 月 25 日	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を南消防署に配備
	3 月 18 日	中央北分団車庫竣工(虎溪町1丁目)
昭和 57 年	2 月 26 日	救急車2台を更新、南消防署及び北消防署に配備
	7 月 11 日	指令車を消防本部に配備
昭和 58 年	3 月 7 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を中央南・滝呂分団に更新配備
	8 月 5 日	小型動力ポンプ付積載車を甘原特別消防隊に配備(日消より寄贈)
	10 月 14 日	消防本部・南消防署庁舎建設に着手
	11 月 12 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を中央北・池田分団に更新配備
	12 月 1 日	救急医療情報案内業務(救急医療情報センター)を開始
	12 月 16 日	小型動力ポンプ付積載車を諏訪特別消防隊に更新配備
	12 月 25 日	消防団機構改革により甘原・諏訪・三の倉特別消防隊の3隊を合併して池田南分団と昇格発足
		北小木特別消防隊を南姫分団に合併
昭和 59 年	9 月 22 日	小型動力ポンプ付積載車を南姫分団(北小木)に配備
	10 月 1 日	消防本部・南消防署庁舎竣工(三笠町2)業務開始
		救急指令装置B型に更新、総合気象観測装置による気象観測を開始
	10 月 2 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を共栄・小泉分団に更新配備
	12 月 6 日	共栄分団車庫竣工(小名田町1丁目)
昭和 60 年	2 月 1 日	小型動力ポンプ付積載車を池田南分団(三の倉)に更新配備
	9 月 27 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を市之倉・南姫分団に更新配備
	11 月 30 日	中央南分団車庫竣工(青木町)
昭和 61 年	2 月 18 日	通信指令室に多治見市防災行政無線設備(分局)を設置、消防防災信号、消防広報等の業務を開始
	3 月 25 日	池田分団車庫新・改築竣工(池田町2、4丁目)
	11 月 25 日	化学消防ポンプ自動車を北消防署に配備
	12 月 3 日	南姫分団車庫竣工(大藪町)
	12 月 25 日	小泉分団車庫竣工(小泉町2丁目)

昭和 62 年	9 月 22 日	小型動力ポンプ付積載車配備(中央北・市之倉分団)
	10 月 3 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を北消防署に配備
	11 月 29 日	救助工作車(Ⅱ型)を南消防署に配備
昭和 63 年	2 月 8 日	中央北分団車庫増改築竣工(虎溪町2丁目)
	4 月 1 日	消防職員定数を95人に増員
	4 月 1 日	旭ヶ丘分団を新設、消防団員定数を358人に増員
	9 月 20 日	小型動力ポンプ付積載車配備(中央南・共栄分団)
	10 月 19 日	15m級梯子車を更新し南消防署に配備
	11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車を旭ヶ丘分団に配備
	12 月 25 日	旭ヶ丘分団車庫竣工(旭ヶ丘8丁目)
平成 元 年	4 月 1 日	消防本部機構改革、消防課を警防課に改称、予防課設置
	10 月 17 日	小型動力ポンプ付積載車を池田分団・滝呂分団に配備
	10 月 21 日	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を南消防署に配備
	12 月 25 日	滝呂分団車庫竣工(滝呂町10丁目)
平成 2 年	3 月 7 日	救急車を更新し南消防署に配備
	3 月 30 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を池田南分団(廿原)に配備
	3 月 30 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を旭ヶ丘分団に配備
	7 月 1 日	緊急通報用ファクシミリを全消防分団車庫に設置
	9 月 13 日	池田南分団(廿原)車庫竣工
平成 3 年	3 月 27 日	救急車を更新し、北消防署に配備
	4 月 1 日	脇之島分団を新設、消防団員定数を390人に増員
	6 月 24 日	小型動力ポンプ付積載車を脇之島分団に配備
	8 月 4 日	第40回岐阜県消防操法大会を脇之島運動広場で開催
	12 月 6 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を脇之島分団に配備
平成 4 年	1 月 30 日	北消防署庁舎改築
	3 月 4 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を南消防署に配備
	3 月 22 日	池田分団車庫を移設竣工(池田町2丁目)
	3 月 29 日	池田南分団(三の倉)車庫竣工
	4 月 1 日	消防職員定数を99人に増員 防災業務の主管を市役所企画調整課より移管
	9 月 9 日	災害弱者緊急通報システム運用開始
	11 月 5 日	救急車を更新し、笠原消防署に配備
	12 月 26 日	現場指揮車を更新し消防本部に配備
平成 5 年	3 月 28 日	池田南分団(諏訪)車庫竣工
	10 月 1 日	気象観測装置更新
	12 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車(IB型)(1,500ℓ 級)を南消防署に配備
	12 月 19 日	南姫分団(北小木)車庫竣工
平成 6 年	2 月 28 日	北消防署車庫増改築
	3 月 31 日	通信指令室増築(132㎡)
	4 月 1 日	消防職員定数107人に増員
	9 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車(IB型)(1,500ℓ 級)を北消防署に配備
	12 月 1 日	高規格救急車を南消防署に配備
平成 7 年	3 月 27 日	消防緊急通信指令装置導入
	4 月 1 日	岐阜県防災行政無線設置、通信指令室配置
	12 月 7 日	梯子車(35m級)を南消防署に更新配備

平成 8 年 9 月 18 日	消火通報訓練指導車を北消防署に配備
10 月 16 日	救急車を更新し、北消防署に配備
10 月 16 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し、南消防署に配備
12 月 25 日	岐阜県震度情報ネットワークシステム整備
平成 9 年 4 月 1 日	多治見市機構改革に伴い予防課と警防課を統合し予防警防課に改称
4 月 1 日	防災業務の主管を一部市役所企画課に移管
平成 10 年 10 月 1 日	多治見市事業見直しに伴う係制の廃止及びグループ制の導入
	多治見市地域防災活動協力員制度発足
10 月 30 日	移動体通信代表受信消防本部体制発足
11 月 11 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し、笠原消防署に配備
平成 11 年 3 月 7 日	滝呂台分団車庫竣工(滝呂町14丁目)
4 月 1 日	滝呂台分団を新設、消防団員定数を422人に増員し、消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)及び小型動力ポンプ付積載車を配備
9 月 25 日	消防本部発足及び消防団改組50周年記念並びに伊勢湾台風被災40周年式典を文化会館にて挙行
9 月 29 日	岐阜県緊急消防援助隊訓練を多治見駅北市有地で実施
平成 12 年 7 月 1 日	旭ヶ丘分団を北栄分団に改称
10 月 23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練に消火部隊1隊が参加(東京都江東区)
11 月 26 日	多治見市制60周年・消防音楽隊結成40周年記念演奏会を文化会館で開催
平成 13 年 9 月 4 日	消防団指揮車を更新し、団本部に配備
10 月 22 日	災害対応特殊救急自動車を北消防署に配備
	高規格救急車を南消防署に配備
平成 14 年 1 月 6 日	土岐川改修のため消防出初式式典を文化会館、演習等を多治見駅北広場にて開催
8 月 14 日	ドクターカー試行運用開始
11 月 19 日	滝呂分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
12 月 18 日	救助工作車(Ⅱ型)を南消防署に配備
平成 15 年 11 月 11 日	自治体消防55周年記念大会に参加(東京ドーム)
12 月 15 日	中央南、池田分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
12 月 18 日	高規格救急車を笠原消防署に更新配備
平成 16 年 1 月 11 日	土岐川改修工事が完了したため、消防出初式式典を多治見市産業文化センター、演習等を土岐川堤防及び土岐川河原にて開催
10 月 1 日	聴覚障害者用メールたじみ119運用開始
平成 17 年 2 月 17 日	緊急通報電話〔日本テレコム(現在ソフトバンクテレコム)〕運用開始
2 月 23 日	中央北分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
	根本分団車庫竣工(根本町7丁目)
4 月 1 日	根本分団を新設、消防団員定数を454人に増員し、消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)及び小型動力ポンプ付積載車を配備
	緊急通報電話(KDDIメタルプラス)運用開始
4 月 3 日	根本分団発足式
7 月 19 日	県総合防災情報システム整備
8 月 1 日	災害情報配信システム(パワフル消防団)運用開始
10 月 13 日	共栄分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
	南姫分団(北小木)の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
10 月 26 日	緊急通報電話(NTTひかり電話)運用開始
11 月 28 日	北消防署庁舎改築(耐震補強工事)

平成 18 年	1 月 1 日	多治見市機構改革に伴い、庶務課を消防総務課に改称
	1 月 19 日	移動体通信(携帯電話からの119番通報)が代表消防本部受信方式から直接受信方式へ移行
	1 月 23 日	土岐郡笠原町が多治見市と合併 常備消防業務受託を廃止 笠原町消防団員定数85人を加えて、消防団員定数を539人に増員
	4 月 2 日	小泉分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 池田南分団(諏訪)の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	9 月 19 日	高規格救急車を北消防署に更新配備
	11 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1,500ℓ)を笠原消防署に更新配備
	11 月 19 日	消防音楽隊が多治見笠原合併記念演奏会を笠原中央公民館で開催
	12 月 20 日	緊急通報電話(CTCコムファ光電話)運用開始
平成 19 年	8 月 16 日	気象庁 多治見観測所(北消防署内に設置)にて、全国の最高気温40.9℃を記録
	10 月 23 日	南姫分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 池田南分団(三の倉)の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	12 月 28 日	化学消防自動車を更新し、南消防署に配備
平成 20 年	3 月 17 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車を寄贈を受け南署に配備
	4 月 1 日	南消防署に女性職員用仮眠室を整備
	9 月 1 日	岐阜県立多治見病院とDMERC(欧州型ドクターカー)の運用開始に合わせて協力体制を構築
	10 月 15 日	市之倉分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
平成 21 年	3 月 27 日	消防本部西側出入りに隣接する土地(435.79㎡)を駐車場用地として取得
	4 月 1 日	笠原分団の3分団を第1、第2分団に再編成 機能別分団として、救命処置指導隊(メディックT)を発足
	11 月 9 日	笠原第1分団の小型動力ポンプ付積載車を消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型に更新配備 中央北分団、小泉分団、南姫分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	12 月 22 日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型をCAFS付に更新し、北消防署に配備
平成 22 年	3 月 11 日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型をCAFS付に更新し、南消防署に配備
	3 月 17 日	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を北消防署に更新配備
	12 月 5 日	多治見市制70周年・消防音楽隊結成50周年記念演奏会を文化会館で開催
平成 23 年	3 月 31 日	消防本部・南消防署庁舎改築(耐震補強工事) 通信指令室改修
	4 月 1 日	多治見市機構改革に伴い、通信指令室を通信指令課に改称 高機能消防指令システム導入
	12 月 4 日	笠原第1分団詰所整備(笠原消防会館1階を改修) 笠原第2分団車庫竣工(笠原町上原)
平成 24 年	3 月 19 日	中央南分団、市之倉分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	3 月 28 日	現場指揮車を更新し、消防本部に配備
	4 月 1 日	嘱託職員制度開始
	4 月 1 日	防災業務の主管を市役所企画防災課に移管
	11 月 22 日	共栄分団、北栄分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
平成 25 年	9 月 1 日	多治見市消防団女性消防隊を発足
	10 月 18 日	池田分団、滝呂分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	10 月 21 日	資機材搬送車を消防本部に配備
	11 月 25 日	消防団120周年、自治体消防65周年記念大会に参加(東京ドーム)
	11 月 22 日	高規格救急車を更新し、北消防署に配備

平成 26 年	3 月 31 日	多治見市地域防災活動協力員制度廃止
	4 月 1 日	多治見笠原消防会館の貸館制度廃止により、名称を多治見笠原消防署に改称 再任用制度開始
	10 月 28 日	笠原第1分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	11 月 17 日	水槽付消防ポンプ自動車を南消防署に更新配備
	11 月 18 日	高規格救急車を南消防署に更新配備
	12 月 12 日	消防本部に防災活動車を配備
平成 27 年	4 月 1 日	消防救急デジタル無線運用開始 北消防署に女性職員用仮眠室を整備
	11 月 13 日	水槽付消防ポンプ自動車を北消防署に配備
	12 月 14 日	池田南分団(廿原)の消防ポンプ自動車を更新配備
平成 28 年	4 月 1 日	消防職員定数を110人に増員
	8 月 7 日	「消防感謝祭」第65回岐阜県消防操法大会を星ヶ台運動公園駐車場で開催
	10 月 4 日	高規格救急車を更新し、笠原消防署に配備
	15 日	北栄分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
	19 日	笠原第2分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	12 月 23 日	消防本部に防災広報車を配備
平成 29 年	12 月 1 日	脇之島分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 脇之島分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
	12 月 1 日	「岐阜県女性防火クラブ運営協議会指導者研修会」及び「北陸中部ブロック女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会」を笠原中央公民館アザレアホールで開催
平成 30 年	12 月 1 日	梯子車(35m級)を南消防署に更新配備

令和 元 年	6 月 11 日	高規格救急車を更新し、北消防署に配備
	12 月 18 日	中央北分団車庫併設詰所移転(上野町3)
令和 2 年	4 月 1 日	消防本部組織改編により、消防総務課、予防警防課、通信指令課を消防総務課、予防課、救急指令課に改編
	9 月 16 日	笠原第2分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型をCD-Ⅰ型に更新配備 滝呂台分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
令和 3 年	2 月 16 日	高規格救急車を更新し、南消防署に配備
	4 月 1 日	消防職員定数を113人に増員
令和 4 年	9 月 6 日	滝呂分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型に更新配備
	12 月 6 日	東濃5市消防通信事務協議会設置
令和 5 年	3 月 13 日	滝呂台分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
令和 5 年	3 月 28 日	救助工作車Ⅱ型を更新し、南消防署に配備
	9 月 25 日	消防団指揮車を更新配備
	9 月 26 日	中央南分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を更新配備
	12 月 28 日	消防ポンプ自動車を更新し、南消防署に配備
令和 6 年	3 月 20 日	軽運搬車を更新し、南消防署に配備
	3 月 25 日	高規格救急車を更新し、北消防署に配備
	12 月 25 日	査察車を更新し南消防署に配備
	12 月 19 日	市之倉分団車庫併設詰所移転(市之倉町9)
令和 7 年	3 月 21 日	高規格救急車を更新し、笠原消防署に配備
	12 月 25 日	査察車を更新し南消防署、北消防署に配備
令和 8 年	2 月 15 日	北消防署移転(根本町7)
	2 月 15 日	東濃5市消防指令センター仮運用開始(瑞浪市に設置)
	4 月 1 日	消防本部組織改編により、消防総務課、予防課、救急指令課を消防課、予防課に改編
	4 月 1 日	東濃5市消防指令センター運用開始
	4 月 28 日	小泉分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型を更新配備

令和8年度 全国統一防火標語

火の確認 いい日支える いい習慣



多治見市消防本部

〒507-0828

多治見市三笠町2丁目21番地

TEL(0572)22-9216・FAX(0572)24-0622

消防課 総務グループ

TEL(0572)22-9231・FAX(0572)21-0022

消防課 警防・救急グループ

TEL(0572)22-9232・FAX(0572)24-0622

予防課 予防グループ

TEL(0572)22-9233・FAX(0572)21-0022

東濃5市消防指令センター

〒509-6115

瑞浪市北小田町2丁目176番地の2

TEL(0572)26-8331

多治見南消防署

〒507-0828

多治見市三笠町2丁目21番地

TEL(0572)22-9217・FAX(0572)22-9234

多治見北消防署

〒507-0052

多治見市根本町7丁目77番地の1

TEL(0572)56-1239・FAX(0572)56-1236

多治見笠原消防署

〒507-0901

多治見市笠原町2081番地の1

TEL(0572)43-4613・FAX(0572)43-3599

令和7年度版

発行 多治見市消防本部

〒507-0828

多治見市三笠町2丁目21番地

編集 消防本部 消防課